

第8回 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会資料

平成30年度アクションプラン実施内容報告書

平成31年2月26日

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会事務局

平成30年度 水源地域ビジョン実施内容

☐ 後期実施予定プロジェクト

黒字:継続内容
赤字:H30新規内容

基本方針	テーマ	分類	資料NO	実施時期	アクションプラン	H30年度 実施計画	H30年度 実施内容	H30の総括・ポイント
1. 美しいふるさとづくり	I. 水源地域の景観形成	1. 水源地域の景観向上	①	早期	河川と道路の景観保全活動	1. 志々の景観を守り育てる会による除草(継続) 2. 企業CSRの継続 3. 地元団体への声かけやボランティア等の協力要請の検討	1. 企業CSR(11/3、26団体、120名) 2. 企業CSRと合わせてクリーンウォークを実施 3. 草刈り講習会を開催(6/16、23名受講(うち地区住民7名))	●除草と企業CSRの活動は年々参加団体が増えており、中期では100名を突破(H26:73名→H27:95名→H28:112名→H29:119名→H30:120名) ●除草と企業CSRの活動には島根県、雲南市、奥出雲町、NPOさくらおろちなど関連機関も参加し、イベントとしての定着を見せた。 ●除草と企業CSRの活動場所が、うぐいす茶屋周辺に特化されているので、年により違う場所(神戸川沿川など)の除草を検討してもよい。 ●家畜の放牧では、今後の継続に向けた方針を検討した。牛の場合は課題も多いため、当面はヤギや羊の活用を検討する。 ●夏の花として、イベント広場と通路の間のスペースにヒマワリを植栽した。 ●ライトアップは中期で定着を見せたが、光が暗いとの意見を受け、照明を増設した。 ●山野草鑑賞エリアは、山野草が雑草に覆われてしまう可能性もあり、日々の手入れにも課題が多いことから、他の施設での事例等を収集し検討を継続する。
				早期	クリーンウォーク(景観保全活動に含む)	1. 企業CSRの中で実施を継続		
				早期	草刈り研修会(景観保全活動に含む)	1. 男女が参加できる研修会を実施		
		②	早期	町有林による景観美化	1. 環境学習の場の運営方法の検討及び整備に必要な事項を整理	1. 環境学習の場の運営方法の検討及び整備に必要な事項を整理		
		③	中期	家畜の放牧	1. イベント時のヤギ、羊の放牧に向けた検討、調整	1. 継続的な家畜の放牧について検討		
		3. 四季の彩りフラワーパレー	後期	夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出	1. ポピー(春)、コスモス(秋)に続く夏の花の検討	1. フラワーパレーにヒマワリを植栽		
			後期	フラワーパレーに山野草鑑賞エリアを整備	1. 志々を元気にする会において検討	—		
			④	早期	彩りの森の紅葉をライトアップ	1. 彩りの森のライトアップ 2. 紅葉祭の開催 3. 志津見ダムライトアップ 4. 効果的なライトアップによる「魅せ方」の検討	1. 紅葉祭の開催(11/3-4、254名) 2. 彩りの森のライトアップの照明を追加 3. 志津見ダムのライトアップ(11/3-25) 4. 紅葉のライトアップ(彩りの森/うぐいす茶屋シンボルツリー 11/1~11/11)	
				後期	一軒一鉢運動を展開	1. 水源地域へのゲートづくりと合わせて実施を検討	—	
		II. 自然環境の保全活用	4. 神戸川エコロジカルネットワーク	⑤	早期	子供向け環境学習会の実施 ・水生生物による簡易水質調査の実施 ・自然観察会 ・山の恵み学習会	1. ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画 2. 下流域住民の参加増を目指す 3. 川遊びをしながら学ぶような企画を検討	
⑥	早期				水辺で遊べる場づくり(既存施設の活用)	1. 水辺利用者との意見交換会の継続 2. 河床整備、除草等適正な管理を行う	1. 貯水池内の除草を実施(フラワーパレーのゲートボール場周辺、フラワーパレー上流、彩りの森の下)	●H30年度は、フラワーパレーのゲートボール場周辺、フラワーパレー上流、彩りの森の下の除草を実施した。

基本方針	テーマ	分類	資料NO	実施時期	アクションプラン	H30年度 実施計画	H30年度 実施内容	H30の総括・ポイント
2. 明るく元気で豊かなふるさとづくり	Ⅲ. 水源地域の活性化	5. 神戸川「川の駅」づくり	⑦	早期	青空市の活性化	1. 販売コーナーの商品を充実させる 2. 加工品の種類の充実を図る	1. うぐいす茶屋販売コーナーの商品の充実 ①ぜんざい(メニューに追加) ②冷やしぜんざい(メニューに追加) ③餡白玉ONアイス(メニューに追加) ④小倉トースト(メニューに追加) ⑤水羊羹(物販スペースに追加)	●加工品の種類の充実では、他地区への出荷や出張販売も見据えて売れる商品を開発していきたい。 ●ダム貯蔵酒試行計画を見直し、ダム貯蔵酒 120本の貯蔵を開始し、平成31年7月から販売開始予定。今後も、ダム貯蔵酒の試行を継続する。 ●イメージキャラクターの活用として、うぐいす茶屋の「くにびきくん」の顔出しパネル設置を継続。訪れた客が写真を撮っている。 ●地域懇談会としては、クラインガルテン歓迎会、庵まつり、公民館まつり、志津見収穫祭、昭和少年少女のつどい等が定着している。H30は新たに地域の誰でも気軽に参加できる「赤ちようちんの集い」を実施した(3回)。今後は地域の活性化についての議論ができるような会の進行・参加の呼びかけ方法を検討する。 ●今後の志々地区を担う中年層の働きを促すため、きっかけ作りの集まりを企画することが必要。 ●ビジョンの認知向上、理解促進を目的に、志々地区全戸への「志津見ダム水源地域ビジョン(後期版)」の配布を実施予定である。 ●「水辺で乾杯」後に、意見交換会を企画したが、悪天候のため中止した。「水辺で乾杯」というイベント名が地域で定着しつつあるため、今後も継続して実施する。イベントのまんねり化を防ぐため、来年度はフラワーパレーにて実施する(H27～H29は志津見ダム駐車場で実施)。
			⑧	中期	憩いの場の充実	1. 「志々さくら広場」を町内外の憩いの場として活用	1. 町内の憩いの場として「志々さくら広場」を活用(わらべの学校(公民館事業)でピザ焼きの具として広場のよもぎを使用。10/7の志々地区体協事業のグランドゴルフ会場として使用。) 2. もみじ管理254名(前年169名) 3. もみじの植栽(130本)(補植116本含む) 4. 神戸の森へガクアジサイを350本植樹 5. 彩りの森にシダレザクラ5本を植樹 6. ダム上流広場に、ヤマザクラ1本、ケヤキ1本を植樹	
			⑦	中期	特産品の開発	1. 地区の「お土産」となる加工品の開発 2. ダムカレー、缶バッチ、豆腐スイーツ等のこれまでの成果を活用した特産品の通年販売	1. ダム貯蔵酒の貯蔵(120本) 2. 地域おこし協力隊による特産品開発及び販売(大判焼き)	
		6. 地域コミュニティの強化	⑨	早期	地域懇親会の開催	1. 地区全員が出られる機会をつくる 2. 取組に対する情報共有 3. ダム資源や素材(駐車場など)の有効活用を検討 4. ビジョンそのものの認知向上、理解促進のための方法を検討 5. 中年層の連帯感向上のきっかけ作り	1. クラインガルテン歓迎会(4/14、131名) 2. 庵まつり(7/14、240名) 3. 志々公民館まつり(8/25、250名) 4. 志津見収穫感謝祭(11/17、125名) 5. 昭和少年少女のつどい(2月16日予定) 6. 赤ちようちんの集い(8/8・17名、9/8・46名、10/24・13名)	
				中期	七夕祭り	1. 水辺で乾杯の継続化(七夕イベントとしての継続)	悪天候のためH30は中止	
		7. 志津見湖のイメージアップ	⑩	早期	イメージキャラクターの活用(地域懇親会テーマ)	1. 地域懇談会で利用に対する議論を行う 2. 看板、広報物へ掲載しPRを行う 3. 「くにびきくん」の顔出しパネルの活用	1. うぐいす茶屋に「くにびきくん」の顔出しパネル継続設置 2. ポピー祭、コスモス祭でのいーにゃん出演	
	8. 自然に優しいエコ活動		中期	水源地域の自然に優しいエコ活動の展開	1. い〜にゃん森の恵み林活プロジェクト、緑の分権改革推進事業など町の事業と連携しつつ、内容を検討。 2. 伐採した樹木の活用を検討	1. い〜にゃん森の恵み林活プロジェクト、緑の分権改革推進事業など町の事業と連携しつつ、内容を検討 2. 伐採した樹木の活用を検討		
	Ⅳ. 地域の有する歴史文化の継承	9. 伝えようふるさとの歴史と文化	⑪	早期	食文化伝承レシピの作成	1. 家庭の味まつりを引き続き開催する 2. 食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討(イベント時など)	1. 第14回家庭の味まつりの開催(11月24日、97名) 2. ポピー/コスモス祭にて、食文化伝承レシピ関連の商品を販売	●家庭の味まつりは継続し、「食」に関する伝承、活用は維持して行くべきである。H30はH29と比べ出品者数が増加した(H29:61品→H30:67品)。 ●今まで見る機会がなかった遺物は、さつき会館での通年展示を開始したが、説明できる人がいないという課題がある。
			⑫	後期	遺物の展示	1. さつき会館で通年展示を継続	1. さつき会館フロアにて通年展示を継続	
			⑫	早期	民具の展示	1. うぐいす茶屋で通年展示を継続 2. イベント等での展示を検討	1. うぐいす茶屋にて通年展示	

平成30年度 水源地域ビジョン実施内容

□ 後期実施予定プロジェクト

黒字:継続内容
赤字:H30新規内容

基本方針	テーマ	分類	資料NO	実施時期	アクションプラン	H30年度 実施計画	H30年度 実施内容	H30の総括・ポイント	
3 人が集まるふるさとづくり	V. 水源地域のPR	10. 水源地域の修景		中期	サインの設置による水源地域の明示	1. 水源地域のPR用看板の検討	1. 手づくり見どころ案内板と合わせて検討 2. 助成金申請を実施	●水源地域の明示としては、手づくり見どころ案内板の設置を積極的に行っている。	
				後期	草花・花木植栽による水源地域へのゲートづくり	1. うぐいす茶屋で展開しているプランターでの花の創出の継続、拡大 2. 案内看板の周りに花壇・プランターを設置し、草花・花木の植栽によって水源地域へのゲートを演出(イベント時での展開)	—	●手づくり見どころ案内板設置のための資金確保のため、助成金制度への申請を実施した。助成事業として採択された場合には、平成31年度に追加の案内板設置を行う。 ●水源地域へのゲートづくりは、飯南町の花いっぱい運動や、花や苗への補助制度と重なる部分もあるので、これらの制度の活用も視野に入れて検討を進める。	
	VI. 上下流の交流	11. 湖畔イベントの開催	13. 志々のみどころ紹介	⑬	早期	ポピー祭・コスモス祭開催	1. ポピー／コスモスの維持(肥料の投入量を増やし地力の回復を行う) 2. ダム見学会、巡視体験等引き続き実施	1. 巡視体験、ダム見学会の実施 2. 降雨体験の実施 3. フラワーバレー会場にて治水事業のパネル展示 4. イモリ釣り体験の実施 5. アンケートを実施し、来訪特性や満足度などを把握(来場者 ポピー祭:約5,100人 コスモス祭:約5,900人) 6. 備北丘陵公園でのポピー・コスモスの維持管理に関する意見交換会を実施(6/28)	●ポピー・コスモスの維持管理手法の参考とするために、備北丘陵公園での意見交換を実施した。 ●ポピーやコスモスは、維持管理手法の改善により、H29に比べ「花が少ない」という意見が大幅に減少した(アンケート調査結果)。今後も花の増加に向けた検討を継続していく。 ●ポピー／コスモス祭は、例年出雲市、雲南市、大田市からの参加者が7割程度を占めており、来客数の増加を図るならば町内への広報を強化する必要がある。 ●ポピー祭では頓原中学校吹奏楽部による野外コンサートを実施、イベント満足度の向上に貢献した(アンケート調査結果より)
					後期	野外コンサート	1. ポピー／コスモス祭に合わせて、地元学校の演奏会を実施	1. 頓原中学校吹奏楽部による野外コンサート(ポピー祭で実施)	
					後期	ナイトバザール	1. 若者や愛好家など「やりたい事」を実現するイベント企画を検討	—	
				⑭	早期	志々ファンクラブ	1. 積極的な情報発信の実施 2. イベント日程の早期発信 3. 会員の具体化の検討を行う(若者や愛好家の参加促進)	1. フェイスブックによる情報発信 2. ゴールデンウィークの企画として、「R184新緑祭」を実施(5/3-5)	●志々ファンクラブは、継続してイベント情報の発信を行っており、H29には島根大学の学生が「飯南町獅子地区」のフェイスブックを立ち上げ、情報発信を継続している。今後は、志津見地区のイベント日程の早期発信や、フォロワー増のための情報発信の強化を図る必要がある。
					早期	シンボルオブジェ作り	1. 「かかし」による地域の魅力向上と交通安全対策の検討	—	
				⑬	早期	湖面巡視体験	1. イベント以外で地元住民向けの体験会の開催 2. 紅葉の時期の巡視体験の検討	1. 湖面巡視体験(ポピー／コスモス祭等で実施) 2. 地元住民向け巡視体験(10/29、20名)	
		12. 湖面イベントの開催		早期	カヌー教室(PTA対象)	1. 愛好家との現地(適地)調査・意見交換会等の開催	—	●ポピー／コスモス祭等のイベント期間中の巡視体験は、地元の人がイベント対応のため参加できないため、地元向けのダム見学の機会の創設を検討していく。	
				後期	カヌー教室(一般対象)	1. 愛好家との現地(適地)調査・意見交換会等の開催	—	●ラジコンボートの操縦体験は継続して行い、定着を見せた。	
				後期	魚釣り大会	1. フラワーイベント時の開催を検討	—		
			⑮	中期	ラジコンボートレース大会	1. ラジコンボート操縦体験の試行実施の継続	1. ラジコンボートの操縦体験(ポピー／コスモス祭で実施)		
	13. 志々のみどころ紹介	14. 田舎ツーリズムの展開	15. 他地区との連携	⑰	中期	手作り見どころ案内板	1. 案内板の内容充実や名称旧跡への案内板設置(例:大イチョウ)など追加設置の検討	平成31年度より着手予定	●H29に作成した「八福神マップ」を2,000部を印刷し、地域への配布を行った。 ●H29に実施した「八福神めぐりサイクリング」では、地元の間でも八福神ゆかりの場所の位置が分からない場面があった。今後は八福神ゆかりの場所や地元の名所(大イチョウなど)について、案内板の設置などを検討していく必要がある。
				⑰	早期	マップ(パンフレット)づくり(地域懇親会テーマ)	1. 八福神マップを活用した八福神めぐりイベントの展開と交流人口の拡大を目指す	1. 八福神マップの配布継続	
				⑯	早期	フォトコンテストの開催	1. 年間を通じた募集 2. 町内PRを強化(応募数減少への対策) 3. コンテスト入賞作品の展示機会の創出を検討	1. 年間を通じた募集 2. コンテスト入賞作品の展示機会の創出を検討 3. 募集チラシに昨年度の入賞作品を掲載	●フォトコンテスト入賞作品は、ポピー祭での展示後は日の目を見る機会がなかったことから、入賞作品の展示機会の創出を検討した。今後は公共の施設等で期間を限定して展示を検討していく。同時にコンテスト作品募集のチラシも一緒に掲示することで、コンテストへの参加促進を図る。
		⑱	中期	田舎体験	1. 獅子地区における田舎体験の継続 2. 田舎体験プログラムの他地区展開に取り組む	1. ダム見学・田植え体験(5/3-4、13人) 2. 稲刈り体験・観光施設見学(9/15-16、5人) 3. 志々地区運動会(9/23、1名) 4. 秋の例大祭(11/3、11名参加) 5. 獅子田舎体験の活動報告会(1/26開催、29人)	●獅子地区における田舎体験は、懇親会などで地域住民との交流も深め、定期的なイベントとして定着を見せている。田舎体験への参加をきっかけに、島根大学の学生が志々地区のイベントへ参加(運動会:1名、志々乃村神社の例大祭:11名)してくれたことにより、獅子地区以外の住民にも、学生とのつながりが生まれた。 ●しばらくは獅子地区でノウハウを積む必要があるが、将来的には他地区への波及を検討していくのも良い ●田舎体験では、獅子地区の暮らしの中心となる「田植え、草刈り、稲刈り」を体験するだけでなく、ダム見学等で志津見ダムを知って貰う機会にもなっている。		
		⑲	中期	広域的な連携検討	1. 周辺地域(三瓶山周辺)への志津見ダムのPR 2. 斐伊川下流域、尾原ダム地域との交流 3. 広域観光の結節点としての機能強化(情報提供など)	1. 企業CSRへの招待 2. ホームページでの相互PR 3. 周辺地域との連携	●周辺地域との連携として、ポピー祭ではNPOさくらおろち(雲南市)と連携し、ブースを設置した。		

【基本方針1:美しいふるさとづくり】

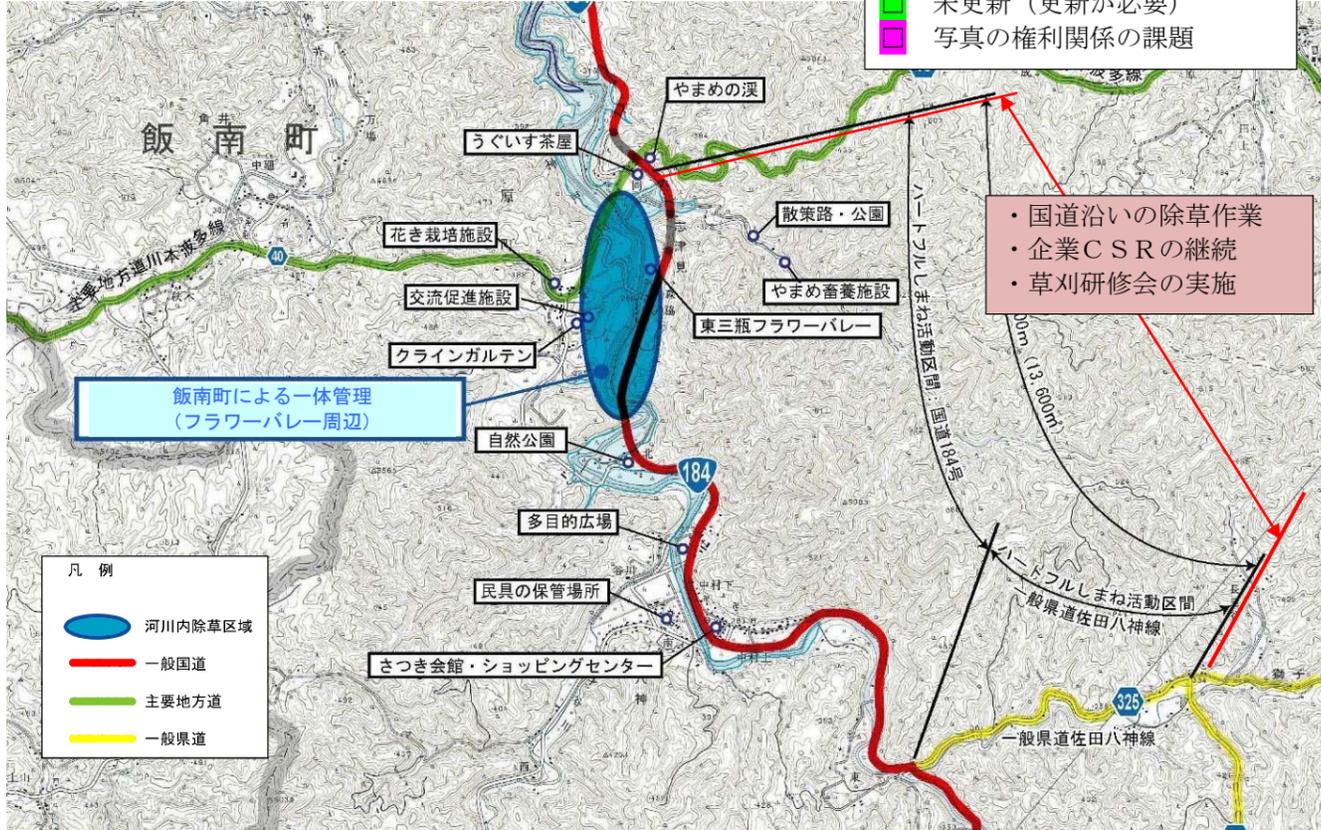
資料①：河川と道路の景観保全活動、グリーンウォーク、草刈り研修会

流域住民と関係機関が協働で河川内や道路沿いの景観保全活動を行う。

取り組み内容(全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の景観の保全・向上 ・清掃や除草の区域、役割分担の明確化 ・地域の連帯感の醸成 						
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーバレーなどの志津見湖内及び河川内 ・国道184号、県道など 						
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の顔となる「生活拠点施設～うぐいす茶屋間」については、地域住民だけでなく神戸川の流域住民にも参加を募り、草刈りやゴミ拾い等の景観保全活動を行う。(既存取り組み) ・通常の行政所管区間の維持管理について、除草等の区域、時期、頻度や役割分担を明確化する。(新規取り組み) ・草刈り道具の使用方法や、効果的な草刈りの手法を学ぶことができる草刈りの研修会(イベント的な要素も盛り込む)をあわせて開催し、神戸川の流域住民にも草刈りを体験してもらう。(新規取り組み) ・地域の自然環境や歴史文化についての情報を提供しながら清掃活動を行う『クリーンウォーク』(「志々地区の歴史と伝承を巡る会」等)を企画する。(新規取り組み) ・活動終了後は交流会を開催する。[志学地区では、桜の苗木まわりの草刈りに広島方面から人を集め、活動終了後、山菜採りやシシ汁、タラの芽やごみを使った山菜弁当で交流会を実施](新規取り組み) <p>【参考】 <既存の取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「志々の景観を守り育てる会」による国道184号、一般県道佐田八神線沿道除草(「ハートフルしまね」として活動 年2回の除草、延長6.8km、面積13,600㎡) ・フラワーバレーエリアの草刈り ・フラワーバレーエリアの種まき ・除草は河川管理者(県、国)および道路管理者(県、町)が行う ・草刈り研修の実施 							
H30で取り組むべき事項	<ol style="list-style-type: none"> ① (河川と道路の景観保全活動) 志々の景観を守り育てる会による除草(継続) ② (河川と道路の景観保全活動) 企業CSRの継続 ③ (河川と道路の景観保全活動) 地元団体への声かけやボランティア等の協力要請の検討 ④ (クリーンウォーク) 企業CSRの中で実施を継続 ⑤ (草刈り研修会) 男女が参加できる研修会を実施 							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	① フラワーバレー							
	維持管理協定の締結			●	●	●		
	種の購入			●				
	種まき	●	●					
除草	●	●	●	●	●		国が町に委託	
② フラワーバレー以外								
河川区域の除草等	●		●	●	●			
道路区域の除草等	●	●	●	●				

注1: 実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2: 実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3: 「地域」: 水源地域住民・団体、「流域」: 斐伊川流域などの住民・団体、「町」: 飯南町、「県」: 島根県、「国」: 国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 企業CSRによる草刈、ゴミ拾い(継続)
 実施主体 飯南町
 ・実施日 平成30年11月3日(土)
 ・実施場所 志津見ダム周辺
 ・参加人数 26団体、120名(過去最多を更新中)

【これまでの参加実績】

- H24: 7団体、27名
- H25: 5団体、19名
- H26: 23団体、73名
- H27: 25団体、95名
- H28: 26団体、112名
- H29: 24団体、119名
- H30: 26団体、120名

2. 草刈り講習会を開催

- ・実施主体 飯南町
- ・実施日 平成30年6月16日(土)
- ・実施場所 さつき会館
- ・参加人数 23名(うち地元住民7名)



草刈り講習会

資料②：町有林による景観美化

飯南町が進める町有林の整備に際し、広葉樹・落葉樹等の植栽に取り組む。

取り組み内容(全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の景観の保全・向上 ・水源地の体験学習林としての活用
	場所	・国道184号沿いの町有林
内容		<ul style="list-style-type: none"> ・町有林の整備を自然保護、景観保全の施策として捉え、広葉樹や紅葉する樹種を部分的に導入する。(既存取り組み) ・自然を体感できる林道整備や、伐採のためのチェーンソーの講習会開催なども検討する。(新規取り組み)
	【参考】	<既存の取り組み内容> <ul style="list-style-type: none"> ・飯南町による町有林整備(植林整備) ・山林保全の位置づけ(人工林区域、体験林区域、天然林区域、学習林区域)

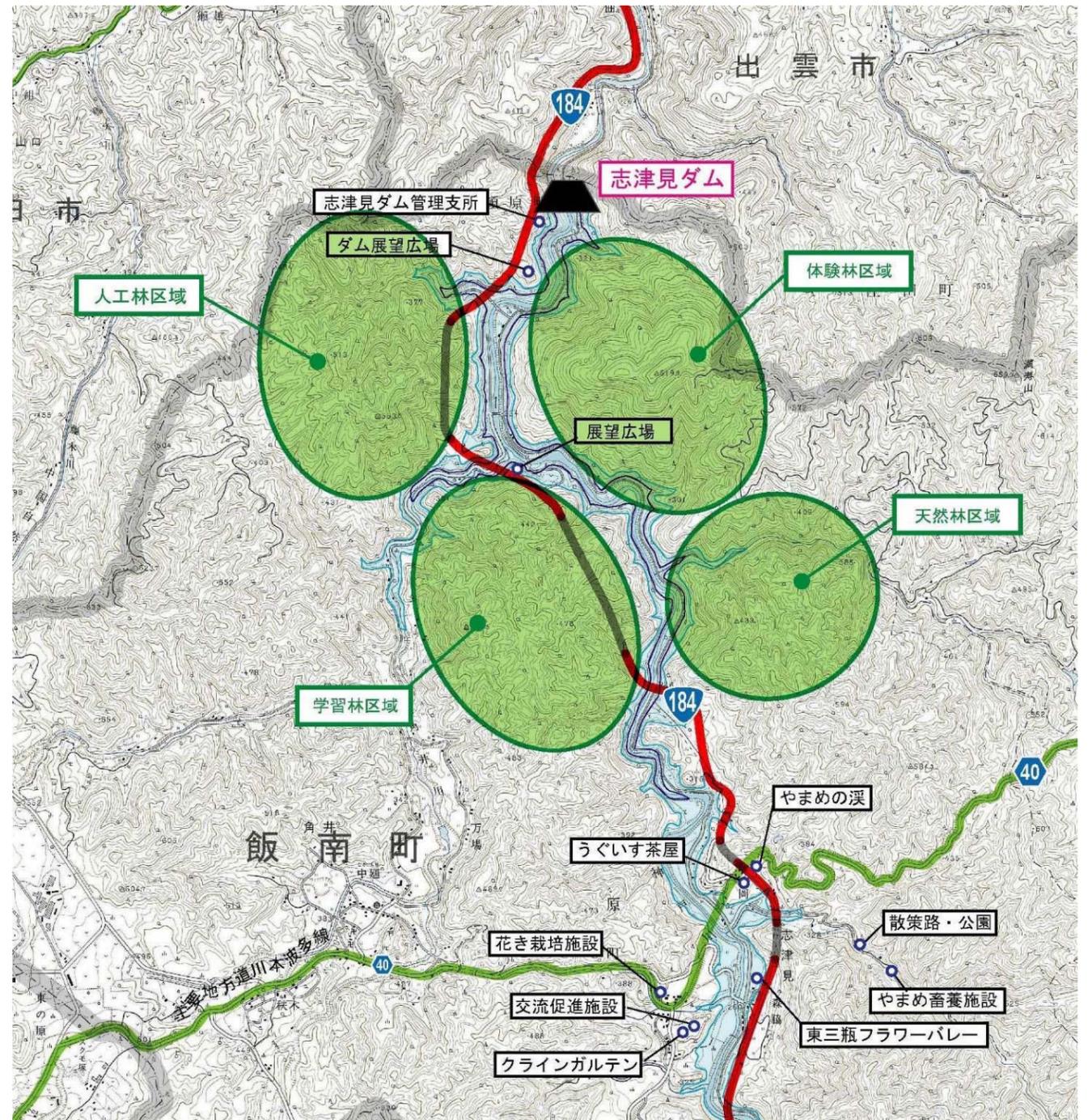
H30で取り組むべき事項
① 環境学習の場の運営方法の検討及び整備に必要な事項を整理

実施主体
志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	企画立案	●			●	●		
林道整備				●				
整備に関する意見集約	●			●				
活用に関する意見集約	●			●	●	●		
取り組み後のPR	●			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

■参考図(「頓原町自然環境保全事業区域平面図」から作成)



■今年度実施内容

1. 町有林による景観美化(継続)
現地調査の結果を踏まえ、今後の対応を検討する。

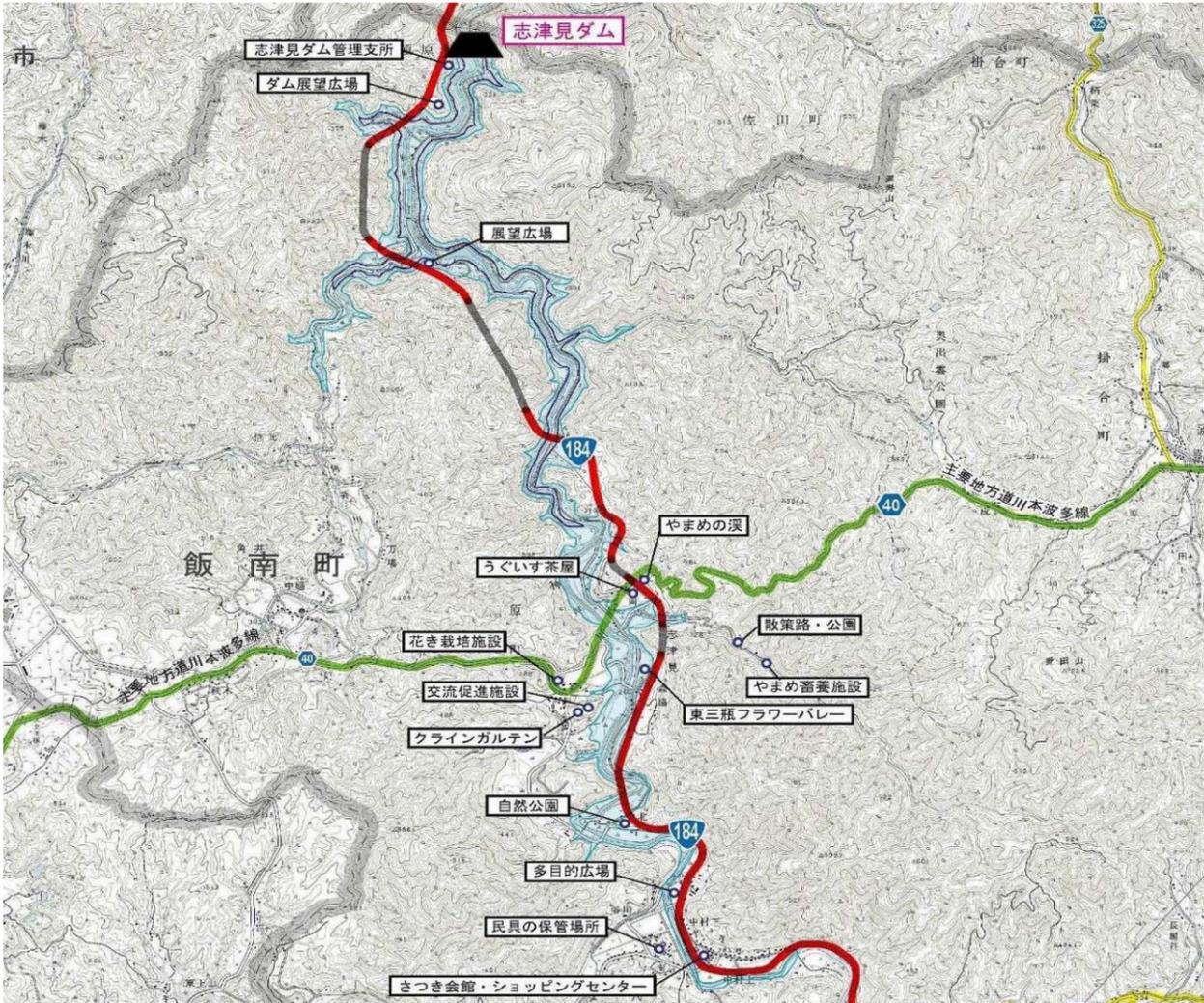
資料③：牧歌的な風景づくり

家畜の放牧

取り組み内容(全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の新たな景観の創出 ・家畜を利用した除草等による景観の保全 						
	場所	・河川敷内						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・牛、羊、山羊などの家畜を放牧することで新たな河川景観を創出するとともに河川敷の除草や排泄物の利用など景観保全や資源有効活用を行う。 ・家畜は借用するなどして試験的な取組や学習会などから始める。 						
H30で取り組むべき事項	① イベント時のヤギ、羊の放牧に向けた検討、調整							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	放牧箇所の調査	●		●				
	放牧の可能性の調査	●		●				
	家畜の手配の検討	●		●			家畜の提供元の調査	
	放牧の許可等の検討			●		●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 試行的に実施した家畜の放牧の継続
 - 平成 27 年、28 年のコスモス祭における放牧の試行を踏まえ、継続的な家畜の放牧について検討を行った。
 - 牛の場合は課題*も多いため、ヤギや羊の活用を検討する。
 - 常時放牧するのではなくイベント時に併せて放牧を行う。
 *牛は一頭だけを入れても動かない動物であり、糞尿の問題もある。

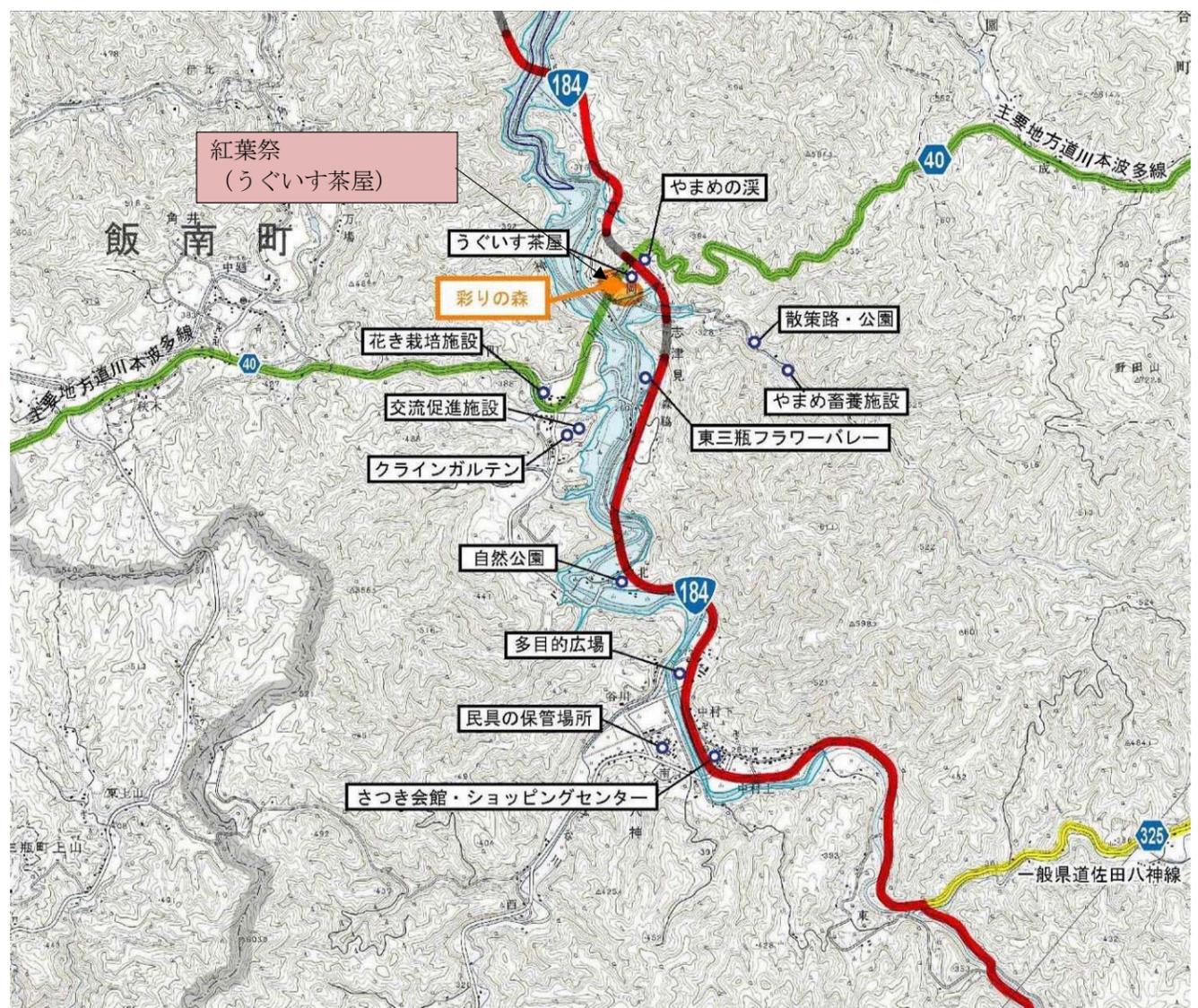
資料④：彩りの森の紅葉をライトアップ

既存の投光機を設置し、うぐいす茶屋周辺の彩りの森の紅葉をライトアップする。

取り組み内容(全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出 						
	場所	・彩りの森（フラワーバレー「うぐいす茶屋」周辺のみもじ植栽地区）						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・紅葉時期に、彩りの森の紅葉をライトアップで演出する。（新規取り組み） <p>【参考】 <既存の取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・彩りの森へのもみじの植栽 ・紅葉祭の開催（11月（有）志都の里、飯南町） ・コスモス祭（10月第2週、日曜日開催） 						
H30で取り組むべき事項	① ライトアップの継続実施（紅葉祭りと連携） ② 志津見ダムとの連携（ダムのライトアップを同時期に実施） ③ 紅葉祭の開催 ④ 効果的なライトアップによる「魅せ方」の検討							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	ライトアップの企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋夜間営業の依頼
	資機材の準備			●				
	投光機の設置			●				
	ライトアップの広報、PR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

- 紅葉祭の開催（継続）**
 紅葉祭の開催を継続
 - ・実施日 平成30年11月3日（土）～4日（日）
 - ・実施場所 彩りの森（うぐいす茶屋周辺）
 - ・実施主体 志都の里・飯南町
 - ・助成 飯南町
- 志津見ダムとの連携（継続）**
 ・紅葉祭にあわせ志津見ダムでもライトアップを実施（継続）
 - ・実施日 平成30年11月3日（金）～11月25日（日）までの土日祝祭日
 - ・点灯時間 17:30～20:00
 - ・場所 志津見ダム 堤体



紅葉祭



彩りの森のライトアップ



志津見ダムのライトアップ

資料⑤：子供向け環境学習会の実施

早期で実施していた神戸川流域の子供たちによる簡易水質調査や自然観察会、山の恵み学習会などのプログラムを組み合わせ、上下流の交流をはかる。

取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> 神戸川をとりまく自然環境の再認識 子供たちに対する地域の自然環境を利用した環境学習の場の提供 周辺整備施設の活用 エコロジカル・ネットワークの形成
	場所	<ul style="list-style-type: none"> 神戸川流域
内容	<ul style="list-style-type: none"> 上下流の子供たち（小学生）が参加する『水生生物による簡易水質調査』を出前講座で実施する。（新規取り組み） 子供たちの調査の成果を発表する場を設けて神戸川の現状を知ってもらうとともに、上下流の交流をはかる。（新規取り組み） <p>【参考】 <既存の取り組み内容> ・斐伊川・神戸川流域環境マップ（NPO法人しまね体験活動支援センター主催） 斐伊川・神戸川流域の児童、生徒による川の環境マップづくり （神戸川での取り組み状況） 2011 秋 上下流の6小学校が参加（八神地区で志々小学校が調査） 参加小学校 飯南町八神：志々小学校 3、4年生 出雲市所原町：朝山小学校 3、4年生 馬木大橋付近：神戸川小学校 4年生（下流） 馬木大橋付近：赤名小学校、来島小学校 4年生合同調査（下流） 塩治町：塩治小学校 4年生（下流） 第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会（2011. 11. 23） 参加：出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会</p>	

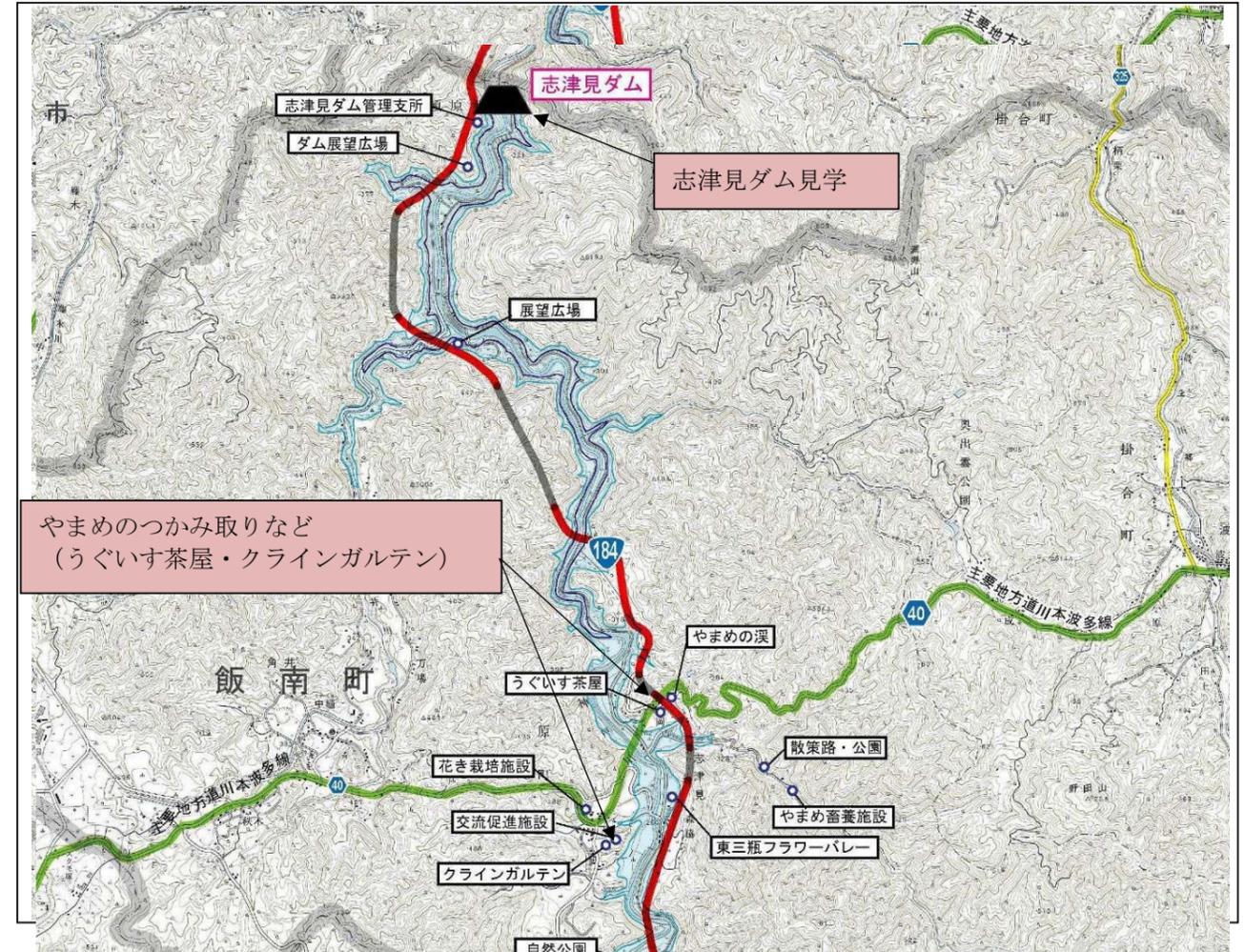
H30で取り組むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ① ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画 ② 下流域住民の参加増を目指す ③ 川遊びをしながら学ぶような企画を検討
--------------	--

実施主体 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
		出前講座の検討	●		●	●	●	
	参加小学校の検討	●		●	●	●		
	教育庁との連携	●		●	●	●		
	交流行事の企画	●		●	●	●		
	調査の広報、PR	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
	斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

- 森の学校サマーツアーの実施（継続）
 - ・実施日 平成30年8月5日（日）～8日（水）
 - ・場所 志津見ダム、うぐいす茶屋、クラインガルテン
 - ・内容 自然体験、ダム見学
 - ・実施主体 飯南高校（生徒企画）、観光協会、飯南町
 - ・参加者 10名
- ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画（継続）
 コスモス祭／ポピー祭のイベント時に合わせ、ヤマメのつかみ取りを実施



巡視艇体験



ダム見学



ヤマメのつかみ取り



森の学校サマーツアー

資料⑥：水辺で遊べる場づくり（既存施設の活用）

水辺公園エリアを利用し、水遊びや川下り、体験・学習等ができる環境を地域住民とともに検討し、整備する。

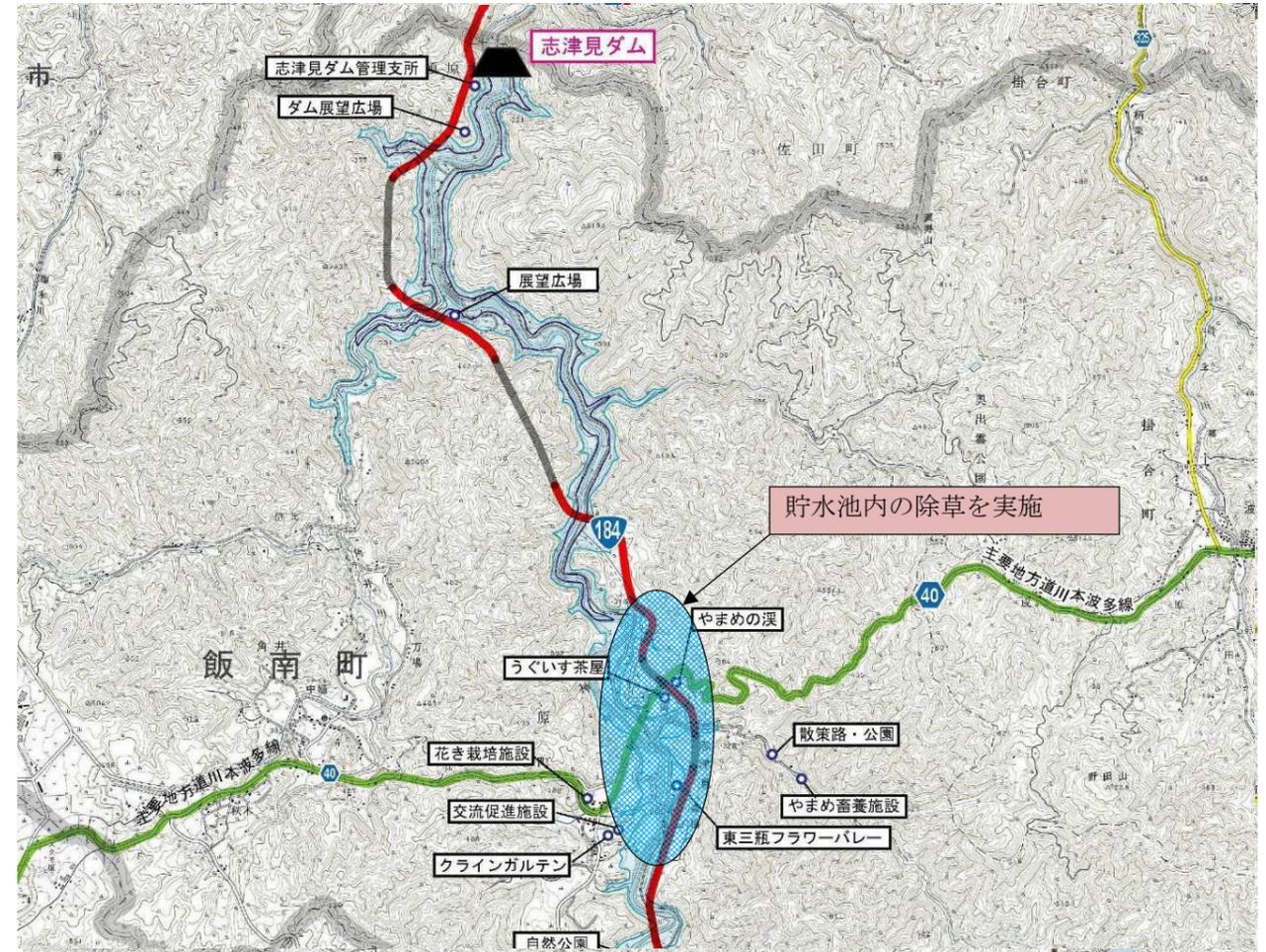
取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自然環境を利用した環境学習 自然体験の場の提供 エコロジカルネットワークの形成 						
	場所	水辺公園エリア（志々小学校前）						
	内容	水辺公園エリアを利用して、川下りや水遊び、イカダ作り、自然木による遊び場等ができる環境を整える。						
H30で取り組むべき事項	① 水辺利用者との意見交換会の継続 ② 河床整備、除草等適正な管理を行う							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	出前講座の検討	●		●	●	●		
	参加小学校の検討	●		●	●	●		
	教育庁との連携	●		●	●	●		
	交流行事の企画	●		●	●	●		
	調査の広報、PR	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●			

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 貯水池内の除草

平成30年度は、「フラワーバレーのゲートボール場周辺」、「フラワーバレー上流」、「彩りの森の下」の除草を実施。



【基本方針2:明るく元気で豊かなふるさとづくり】

資料⑦：青空市の活性化、特産品の開発

地区内の農林水産物をうぐいす茶屋などで「青空市」として販売するための仕組みをつくり、うぐいす茶屋の集客力を高める。

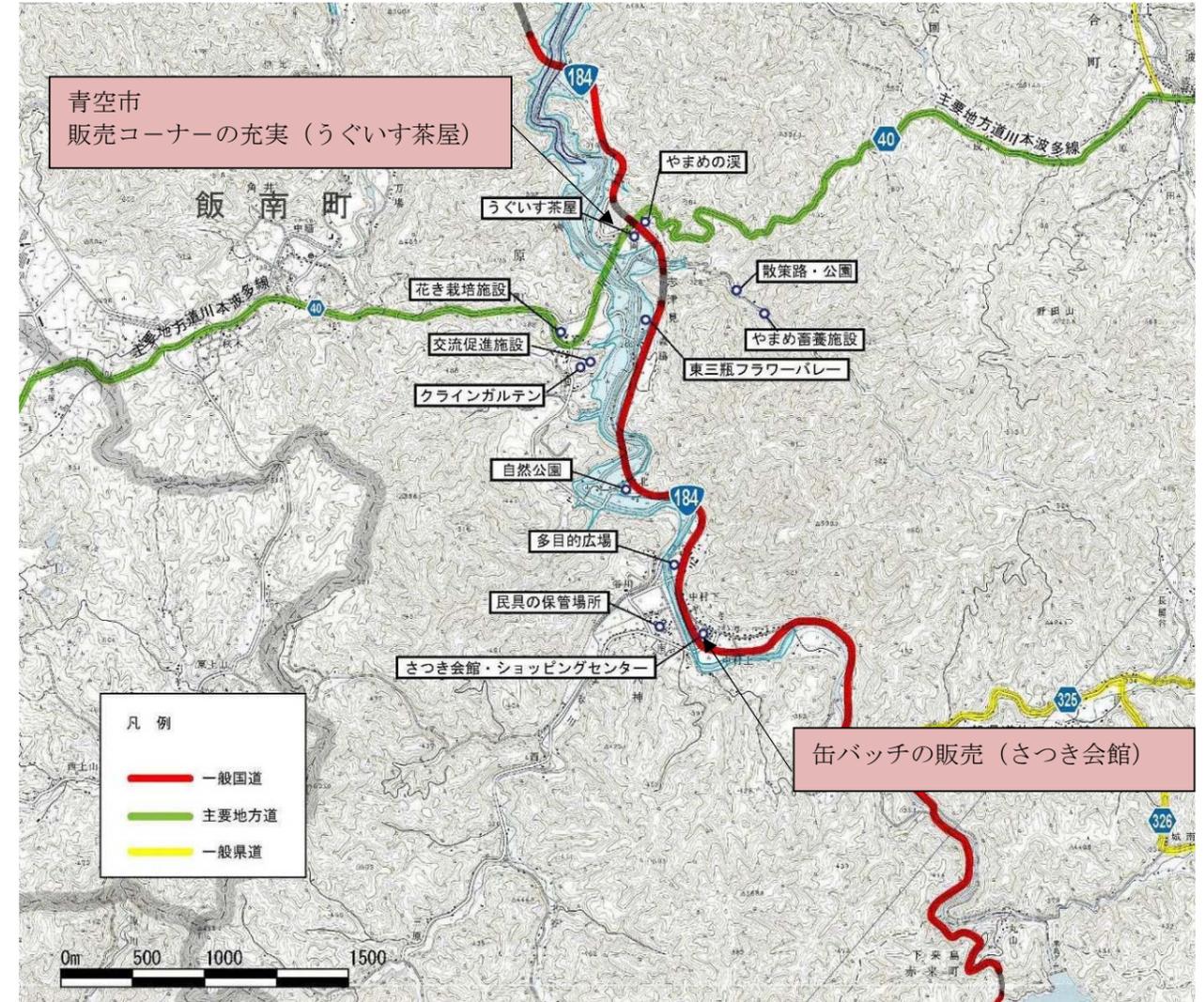
取り組み内容(全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> 拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 地区の活性化と特産品の発掘
	場所	<ul style="list-style-type: none"> 交流エリア（うぐいす茶屋周辺）
内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> 地区内で生産している野菜や果物、米、きのこ、やまめなどの農林水産物をうぐいす茶屋で「青空市」として販売するための仕組みをつくる。(新規取り組み) 自然農法をアピールし、地区の特産品としてのイメージをつくる。移動販売によってアピールしていくことも検討する。(新規取り組み) <p>【参考】 <既存の取り組み内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 青空市の開催 水源地域アドバイザーによるワークショップの開催 ダムカレー、缶バッチの販売
	H30で取り組むべき事項	<ol style="list-style-type: none"> （青空市の活性化）販売コーナーの商品を充実させる （青空市の活性化）加工品の種類の充実を図る （特産品の開発）ダム貯蔵酒を通じたビジョンの理解促進、特産品化を目指した継続実施 （特産品の開発）ダムカレーや漬物、缶バッチ、豆腐スイーツ、ヤマメの押し寿司など、これまでの成果を活用した通年販売

実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会					
------	--------------------	--	--	--	--	--

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
		生産から販売までの仕組みづくり	●		●	●	●	
	生産者の現状把握	●		●				
	出品する農産物の選択	●		●				
	農産物集荷方法の検討	●		●				農産物の各戸集荷が高齢者のみまもりにもつながる
	集客方法の検討	●		●				
	資金の調達手法の検討	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

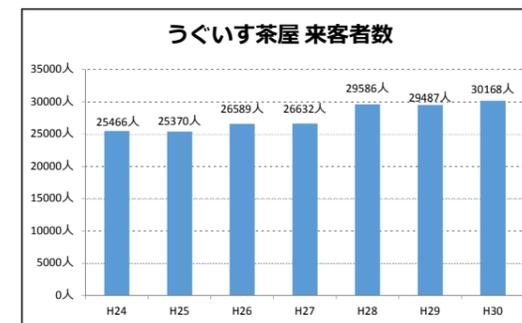
- 販売コーナーの商品の充実(継続)
 - ・ぜんざい
 - ・冷やしぜんざい
 - ・餡白玉ONアイス
 - ・小倉トースト
 - ・水羊羹
- ダム貯蔵酒を通じたビジョンの理解促進、特産品化
- 地域おこし協力隊による特産品開発及び販売(大判焼き)
- 缶バッチの販売



大判焼き



青空市



※出典 (H24～H29) 島根県観光動態調査結果 (H30) 飯南町での集計結果

資料⑧：憩いの場の充実

地区内の農林水産物をうぐいす茶屋などで「青空市」として販売するための仕組みをつくり、うぐいす茶屋の集客力を高める。

取り組み内容 (全体)	目的	・交流エリアや八神エリアの活性化のための施設整備
	場所	・交流エリア（うぐいす茶屋周辺）、八神エリア（さつき会館）
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・うぐいす茶屋横や古宮の名木周辺の公園化の他、キャンプスペースの提供などを検討する。 ・また、自然木で作ったベンチ、積み木などを並べ、子供たちの興味を引く仕組みを作る。 <p>【参考】 ＜既存の取り組み内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の憩いの場として「志々さくら広場」を整備

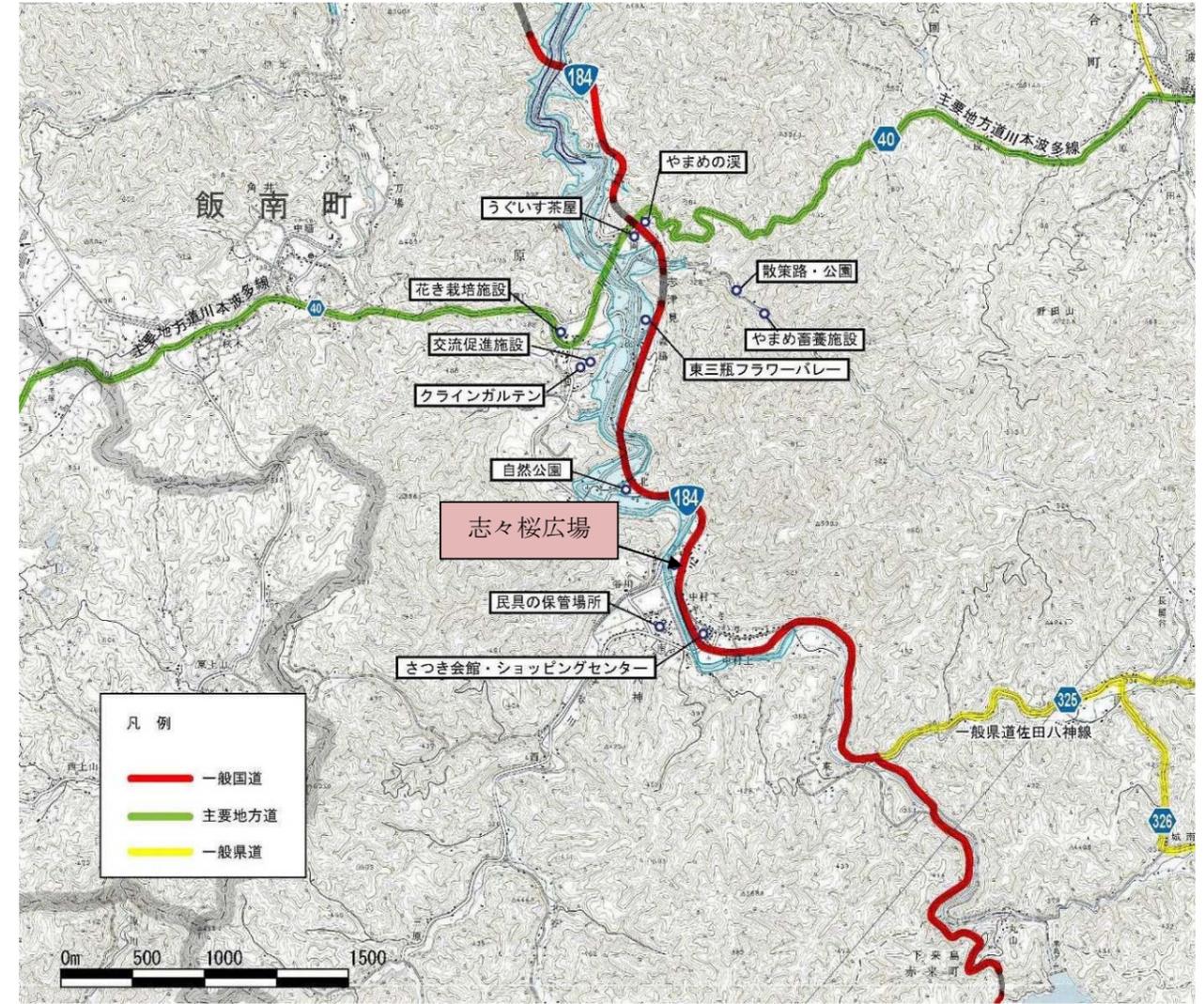
H30で取り組むべき事項 ① 「志々さくら広場」を町内外の憩いの場として活用

実施主体 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	憩いの場の選定	●			●	●		
活用方法の検討	●			●				
憩いの場としての機能の拡幅	●			●				

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

- 町内の憩いの場として「志々桜広場」を活用
 - ・わらべの学校(公民館事業)でピザ焼きの具として広場のよもぎを使用
 - ・志々地区体協事業のグランドゴルフ会場として使用
 - ・広場の手入れ
- 彩りの森のもみじの充実
 - ・もみじ管理 254 名
 - ・もみじの植栽 130 本(補植 116 本含む)
- 神戸の森へのあじさいの植樹
 - ・神戸の森へガクアジサイ 350 本を植樹
- 彩りの森にシダレザクラ5本を植樹
- ダム上流広場への日陰の創出
 - ・ダム上流広場に、ヤマザクラ1本、ケヤキ1本を植樹



上流広場の植栽



志々桜広場の手入れ



彩りの森のもみじ管理

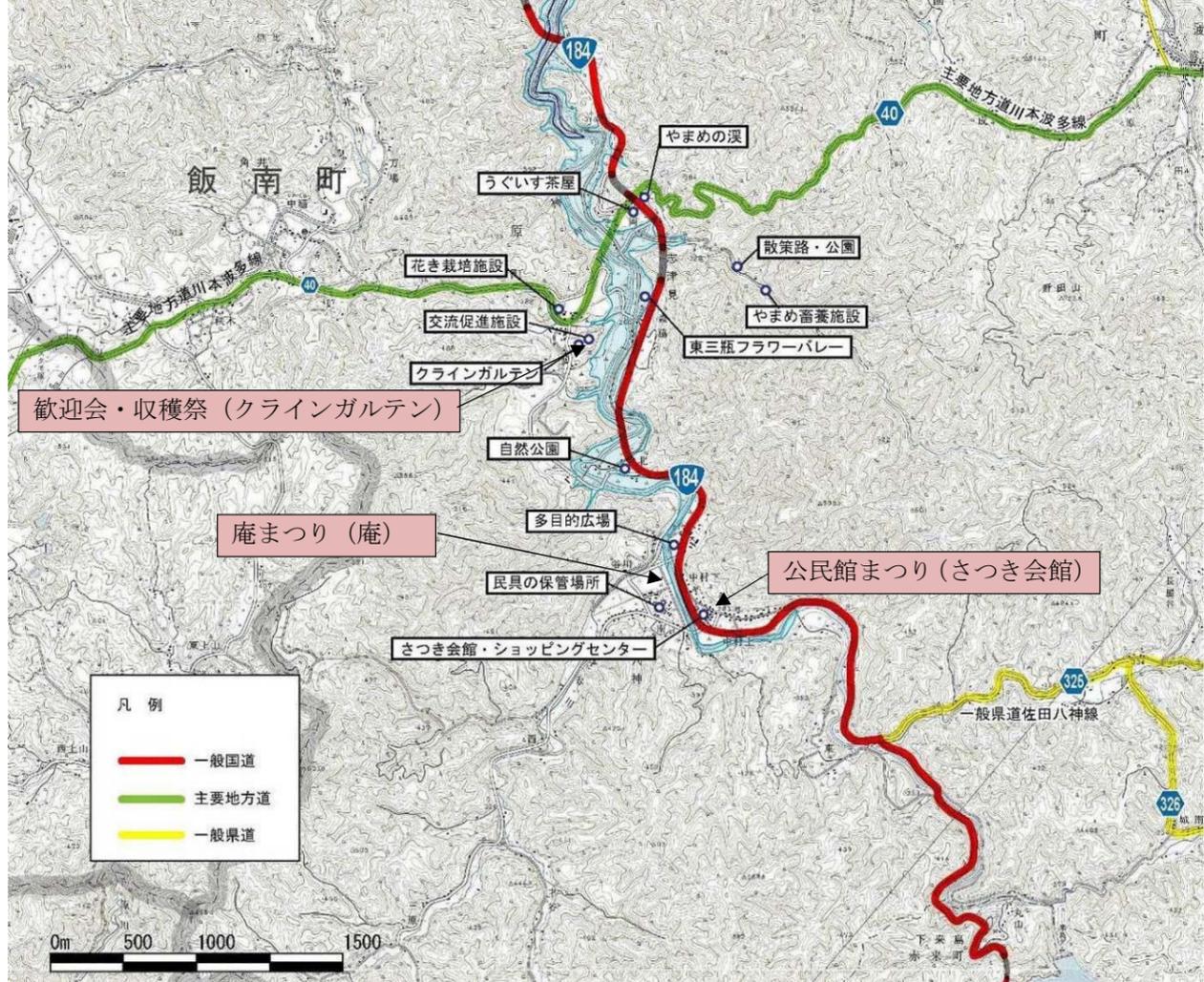
資料⑨：地域懇親会の開催

地域の人々が集う場を定期的に設定し、地域に関する情報交換や意見交換を行う。

目的	<ul style="list-style-type: none"> 志津見ダム水源地域ビジョンの推進に関する意見交換 地域コミュニティの強化 世代間交流 情報の共有と連帯感の醸成 																																
	<p>場所</p> <ul style="list-style-type: none"> さつき会館(志々公民館)、うぐいす茶屋、ダム展望広場 																																
取り組み内容(全体)	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者、壮年期を中心に自治区、公民館と協力して、イベントの実施にからめた開催を検討。(新規取り組み) 以下の施策の具体化を意見交換テーマとしてとりあげて活動を始める。(新規取り組み) <意見交換テーマ> <ul style="list-style-type: none"> ①「山の恵みの学習」について 山の知識が豊富な方の協力を得て、春に流域住民の参加も募り山林の保全活動を行うとともに、山菜の生育条件や採り方、料理の仕方などを学ぶ。また、自然観察会や家庭の味まつりなどのタイアップも検討する。 ②「イメージキャラクターの活用」 既存のイメージキャラクターの活用(着ぐるみの作成など)や子供たちへのアイデア募集などにより親しみやすい志津見湖のイメージを作る。 ③「マップ(パンフレット)づくり」について 水源地域の観光情報や地元住民の自慢の場所からお勧めスポット、地域および連携地域のイベントカレンダーまで、地域の隠れた情報を訪れた人たちに情報提供できるマップをつくる。フォトポイントや見所、名所・旧跡もあわせて紹介する。 <p>【参考】 <既存の取り組み内容> <ul style="list-style-type: none"> 志津見ダムのキャラクター くにびきくん ポピー祭のキャラクター コスモス祭のキャラクター 飯南町のキャラクター いいにゃん 志都の里 湖畔散策マップ </p>																																
H30で取り組むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 地区全員が出られる機会をつくる ② 取組に対する情報共有 ③ ダム資源や素材(駐車場など)の有効活用を検討 ④ ビジョンそのものの認知向上、理解促進のための方法を検討 ⑤ 中年層の連帯感向上のきっかけ作り 																																
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会																																
実施項目と役割分担	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>地域</th> <th>流域</th> <th>町</th> <th>県</th> <th>国</th> <th>必要な支援内容</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>意見交換テーマの設定</td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>意見交換と意見集約</td> <td>●</td> <td></td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>会場提供</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考	意見交換テーマの設定	●		●	●	●			意見交換と意見集約	●		●	●	●			会場提供			●				
	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考																									
	意見交換テーマの設定	●		●	●	●																											
	意見交換と意見集約	●		●	●	●																											
会場提供			●																														

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



今年度実施内容

- 地区全員が出られる機会をつくり、取組に対する情報共有やビジョンの認知向上、理解促進に努めた。
 - ・クラインガルテン歓迎会 4月14日(土)(131名)
 - ・庵まつり 7月14日(土)(240名)
 - ・志々公民館まつり 8月25日(土)(250名)
 - ・志津見収穫感謝祭 11月18日(日)(125名)
 - ・昭和少年少女のつどい 2月16日(土)(30名)
- 志々地区全戸への「水源地域ビジョン(後期版)」の配布を実施する予定。ビジョンの認知向上、理解促進に努める。



クラインガルデン歓迎会



庵まつり



志々公民館まつり



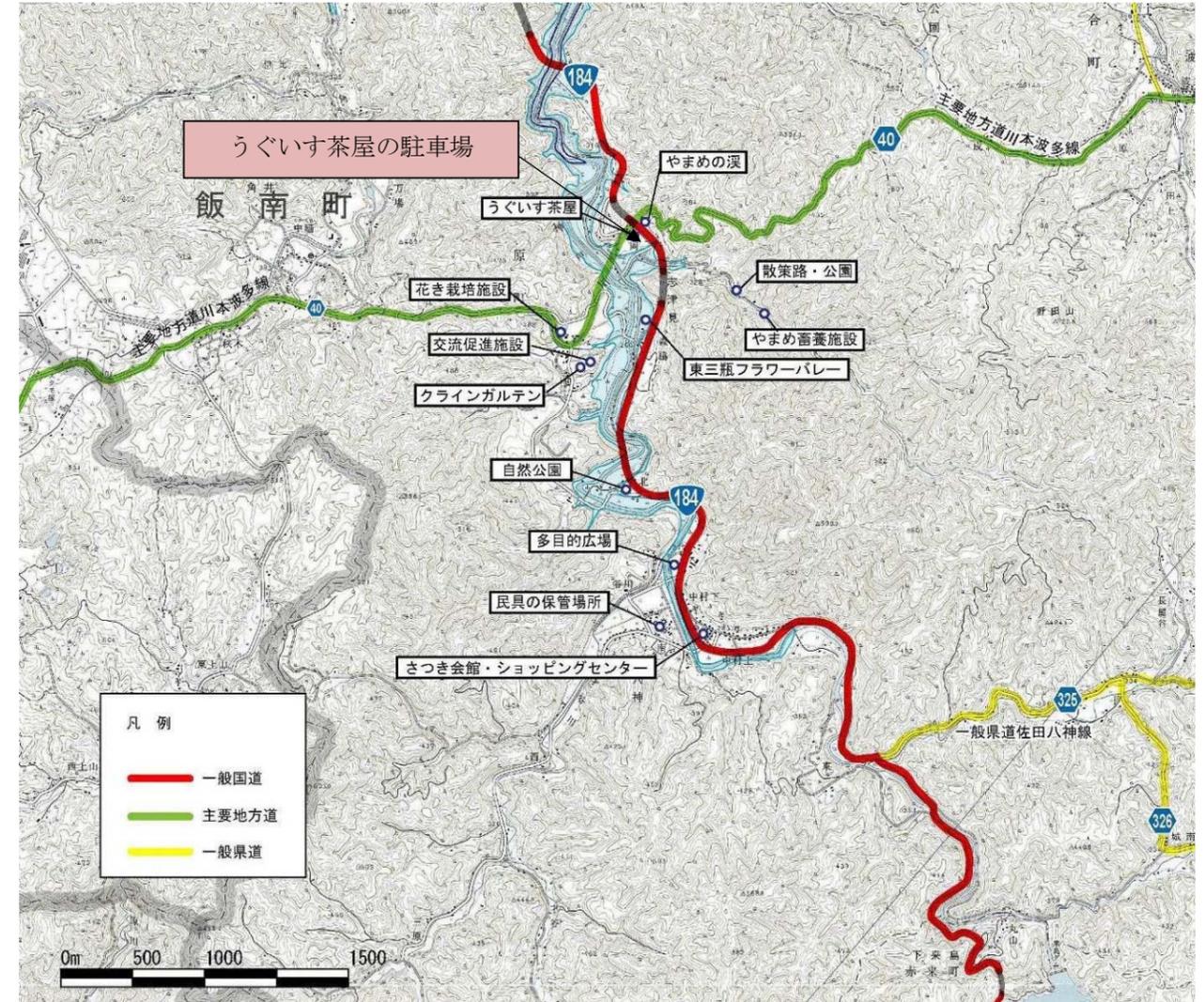
志津見収穫祭

資料⑩：イメージキャラクターの活用

取り組み内容 (全体)	目的	・親しみやすい志津見湖のイメージ作り						
	場所	・交流エリア（うぐいす茶屋周辺）						
	内容	・既存のイメージキャラクターの活用（着ぐるみの作成など）や子供たちへのアイデア募集などにより親しみやすい志津見湖のイメージを作る。 【参考】 <既存の取り組み内容> ・記者発表などの広報資料等への「くにびきくん」の掲載 ・うぐいす茶屋への「くにびきくん」の顔出しパネルの設置						
H30で取り組むべき事項	① 地域懇談会で利用に対する議論を行う ② 看板、広報物へ掲載しPRを行う ③ 「くにびきくん」の顔出しパネルの活用							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	憩いの場の選定	●		●	●	●		
	活用方法の検討	●		●				
	憩いの場としての機能の拡幅	●		●				

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. イメージキャラクターの活用促進

- ・うぐいす茶屋に写真撮影用の「くにびきくん」の顔出しパネルを設置を継続



くにびきくんの顔出しパネル

- ・ポピー祭、コスモス祭での「いーにゃん」出演



いーにゃん

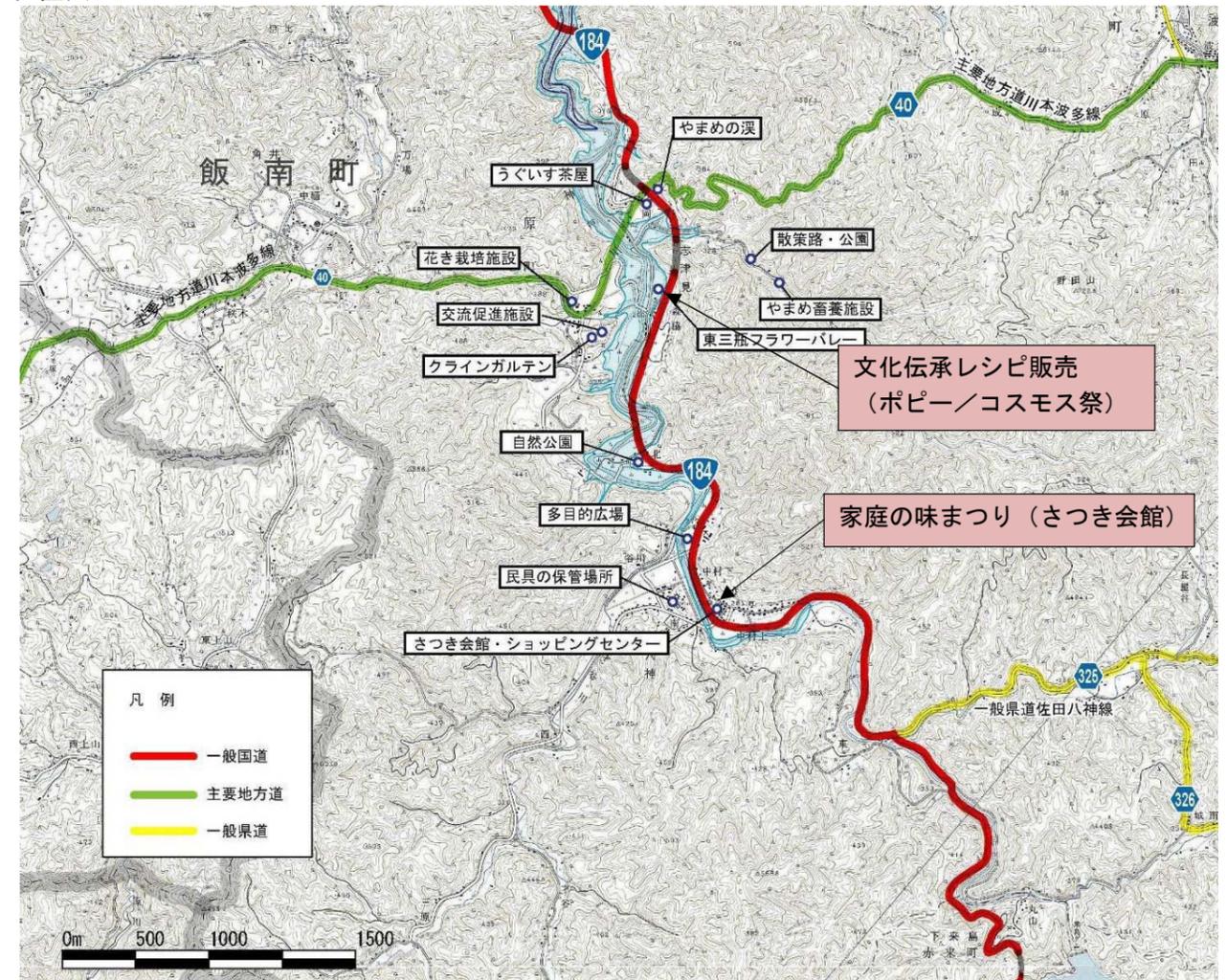
資料①：食文化伝承レシピの作成

“食文化伝承”レシピをつくり、地域の人々に伝承する。

取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化の伝承 ・地域の食文化のPR ・拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・地区の活性化と特産品の発掘 						
	場所	・志々公民館（志々公民館）、うぐいす茶屋						
内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の食材を使った地元の“食文化伝承”レシピをつくる。(新規取り組み) ・うぐいす茶屋でのメニュー化検討。(新規取り組み) ・レシピに基づく料理教室の開催。(新規取り組み) <p>【参考】 <既存の取り組み内容> ・長寿社会づくりソフト事業交付金（特定事業） 申請中（地域社会振興財団） ・志々公民館で活動中 「家庭の味まつり」の開催、これまでの活動内容をまとめ、地域振興に活用できる写真集の発行</p>						
	H30で取り組むべき事項	① 家庭の味まつりを引き続き開催する ② 食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討（イベント時など）						
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	助成申請	●		●	●	●		
	家庭の味まつりの開催	●		●				
	レシピ・写真の整理	●		●				
	レシピのPR	●		●	●	●		
	写真集の発行	●		●				
写真集のPR	●		●	●	●			

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 「家庭の味まつり」の継続開催
 【第14回家庭の味まつり】11月24日(土)開催
 ・参加者数 97名(昨年70名) 出品数 67
2. 食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討
 ・ポピー祭/コスモス祭にて、食文化伝承レシピ関連の商品を販売



ポピー/コスモス祭での食文化伝承レシピ関連の商品の販売

第14回家庭の味まつり

資料⑫：遺物の展示・民具の展示

地区の歴史文化や民俗をうかがい知ることができる遺物や民具を既存施設（うぐいす茶屋等）やイベント時に展示する。

目的	<ul style="list-style-type: none"> 地域の有する歴史文化の継承 地域の歴史文化のPR
	場所
取り組み内容（全体）	<ul style="list-style-type: none"> 保管されている民具の一部をうぐいす茶屋や青空市のディスプレイに活用する。（新規取り組み） さつき会館や志津見ダム管理支所等もテーマを設定するなど展示を検討する。 ポピー祭、コスモス祭、志々公民館まつりなどのイベント時にも会場に展示スペースを設けて民具が見学できるようにする。（新規取り組み）
	内容

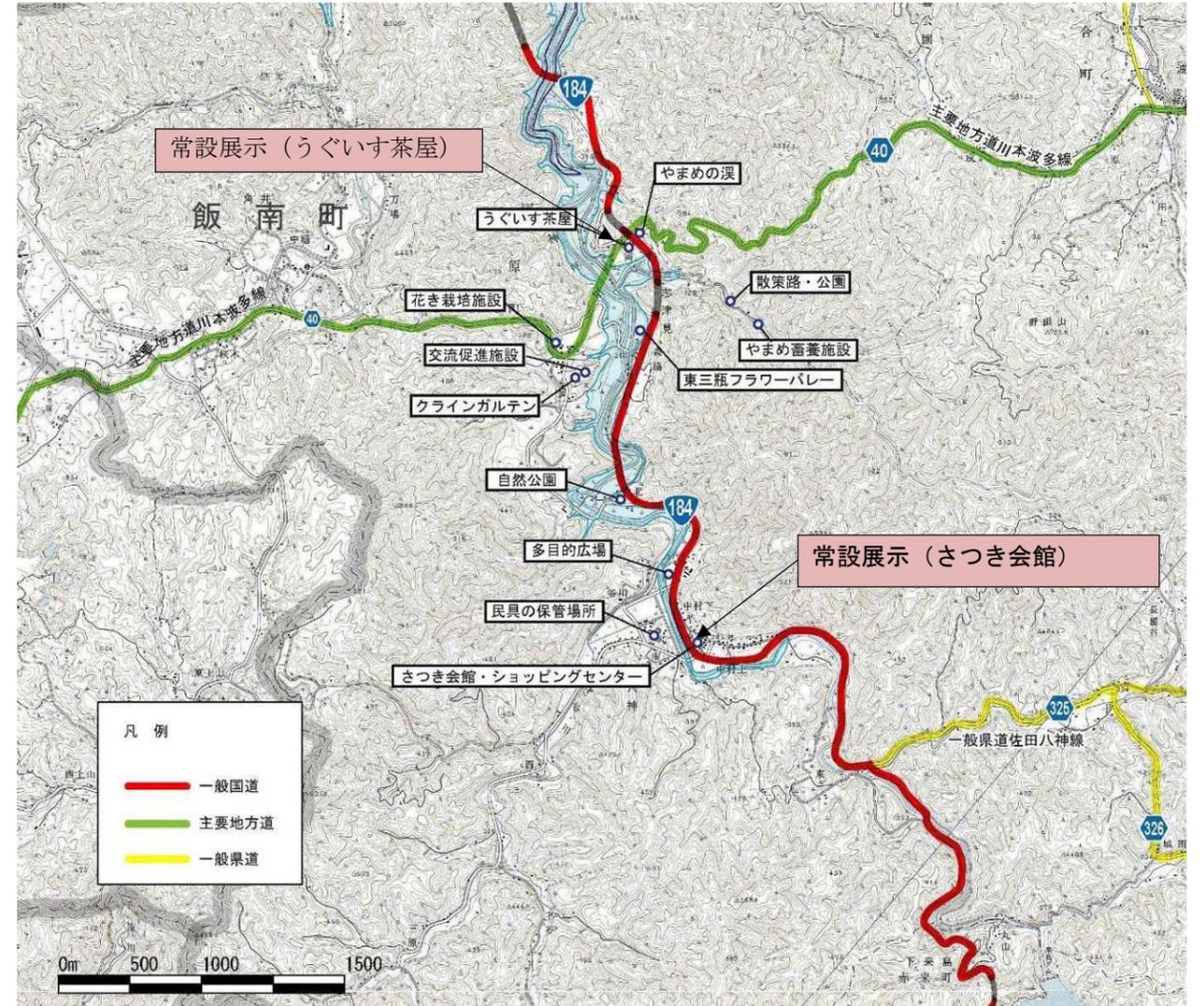
H30で取り組むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ①（遺物の展示）志々エリアで出土した土器などの活用の検討 ②（民具の展示）うぐいす茶屋で引き続き展示 ③（民具の展示）イベント等での展示を行う（民具の実演等展示に工夫）
--------------	--

実施主体 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	①うぐいす茶屋等常設展示							
常設展示の企画		●		●	●	●		うぐいす茶屋等との調整
民具の搬入・設置		●		●				
②イベント開催時の展示		●		●				
イベント展示の企画		●		●	●	●		
民具の搬入・設置・撤去		●		●				
民具の管理		●		●				
③民具の展示のPR		●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. うぐいす茶屋での民具の常設展示（継続）
2. さつき会館での遺物の常設展示（継続）
さつき会館フロアで、遺物2点の常設展示を継続



民具の常設展示（うぐいす茶屋）



遺物の常設展示（さつき会館）

【基本方針3:人が集まるふるさとづくり】

資料⑬：ポピー祭・コスモス祭開催、湖面巡視体験

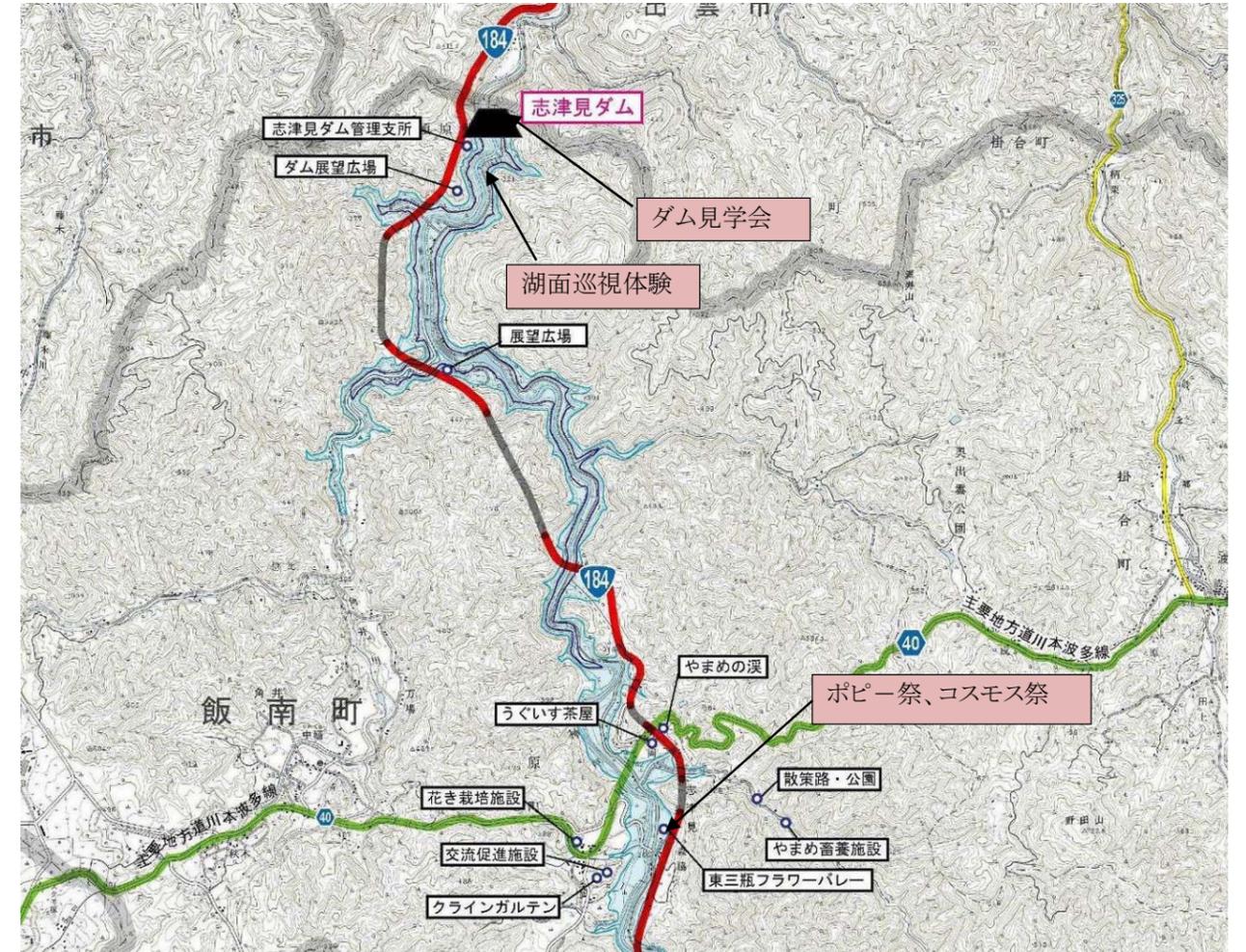
これまでに開催しているポピー祭、コスモス祭を継続して開催する。

取り組み内容(全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化 						
	場所	・フラワーバレーエリア						
取り組み内容(全体)	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ポピー祭、コスモス祭の開催。（既存取り組み） ・イベント開催時には、巡視船を活用した『湖面巡視体験』（新規取り組み）や、ダム見学、発電所見学（既存取り組み）などを実施する。 <p>【参考】 ＜既存の取り組み内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポピー祭、コスモス祭 ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・志津見ダム見学会 ・発電所見学会 						
	H30で取り組むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ①（ポピー祭・コスモス祭開催）ポピー／コスモスの維持（肥料の投入量を増やし地力の回復を行う） ②（ポピー祭・コスモス祭開催）ダム見学会、巡視体験等引き続き実施 ③（湖面巡視体験）イベント以外で地元住民向けの体験会の継続 						
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	湖面巡視体験の実施			●	●	●		
	ダム見学会の実施			●	●	●		
	発電所見学会の実施			●	●	●		
	集中豪雨に関する展示					●		パネル等の展示
	降雨体験機による体験					●		
	イベントの広報・PR	●		●	●	●		
	ビジョンのPR	●		●	●	●		パネル展示

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. ポピー・コスモス祭開催

【入り込み実績】ポピー祭 / コスモス祭

H23	3,000人	/	5,000人
H24	4,000人	/	5,000人
H25	6,000人	/	5,500人
H26	4,500人	/	5,500人
H27	5,500人	/	5,000人
H28	4,800人	/	5,000人
H29	4,300人	/	5,600人
H30	5,100人	/	5,900人



ポピー祭



コスモス祭

2. 地元住民向け巡視体験の開催

・地元向け巡視体験 10月28日(日)開催 20名参加



地元住民向け巡視体験



フラワーバレーの開花状況



参加型企画
(いもり釣り)

資料⑭：志々ファンクラブ（仮称）

クラインガルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成し、情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。

取り組み内容（全体）	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域
内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・クラインガルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成する。（新規取り組み） ・情報提供や地元産品の販売などネットワークを構築する。（新規取り組み） ・ファンクラブの会員については、段階的に広域に広げていく。（新規取り組み） ・他のファンクラブとの連携も検討する。（新規取り組み） <p>【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ なし</p>

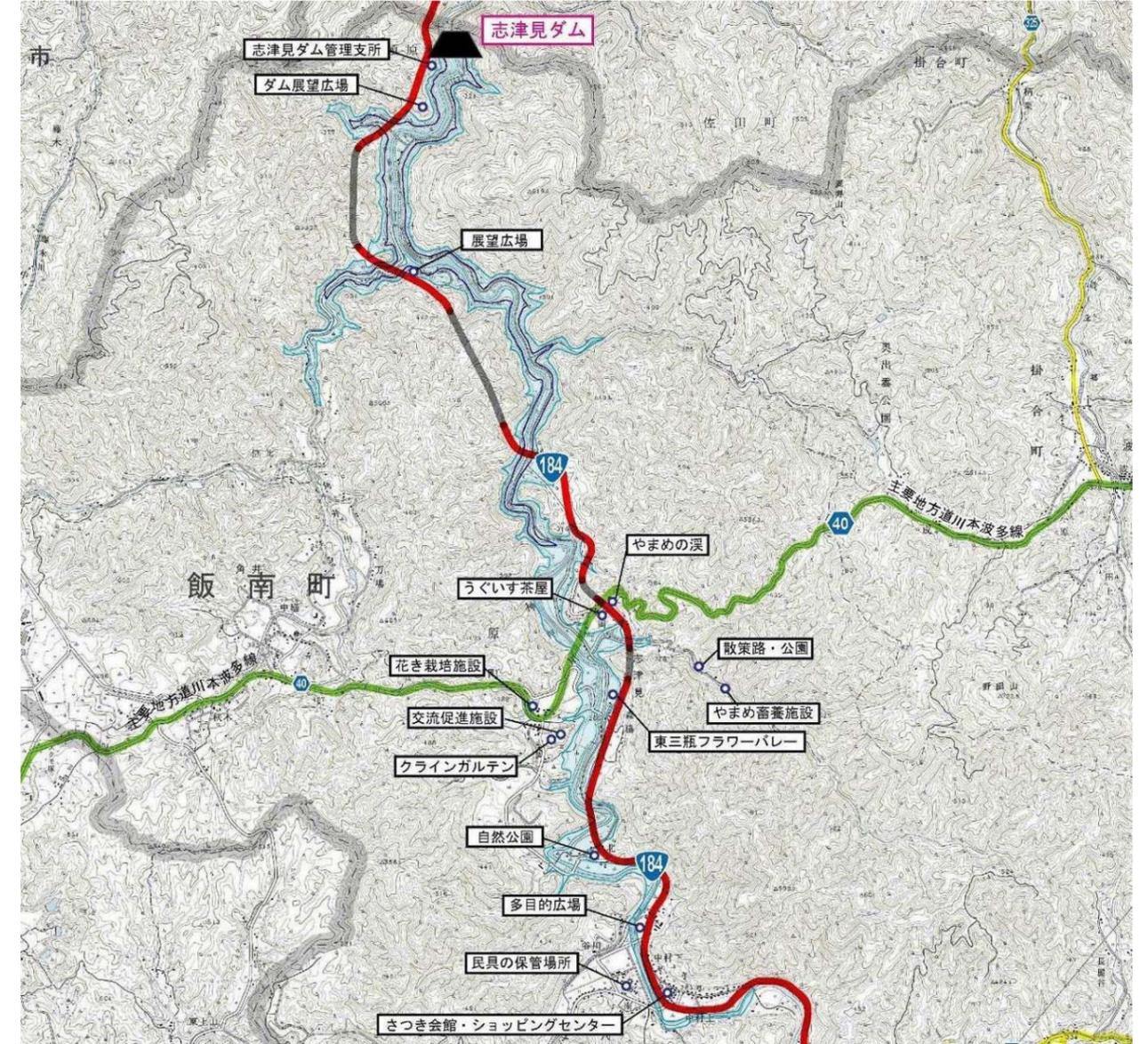
H30で取り組むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 積極的な情報発信の実施 ② イベント日程の早期発信 ③ 会員の具体化の検討を行う（若者や愛好家の参加促進）
--------------	---

実施主体 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	志々ファンクラブの企画	●			●	●		
志々ファンクラブの結成	●			●				
ネットワークの構築	●			●				
名簿の収集	●							
志々ファンクラブのPR	●			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. フェイスブックの活用を中心に積極的な情報発信方法を実施（継続）
 - ・既存の「志々ファンクラブ」及び「志津見ダムファンクラブ」を活用し情報発信を行ったほか、田舎体験での交流から、島根大学の学生を中心に立ち上げた「飯南町獅子地区」のフェイスブックによる情報発信を継続。



志々ファンクラブ



志津見ダムファンクラブ



飯南町獅子地区

資料⑮：ラジコンボートレース大会

カヌーやラジコンボートなど、フラワーバレー周辺の湖面の活用を検討し、実施する。

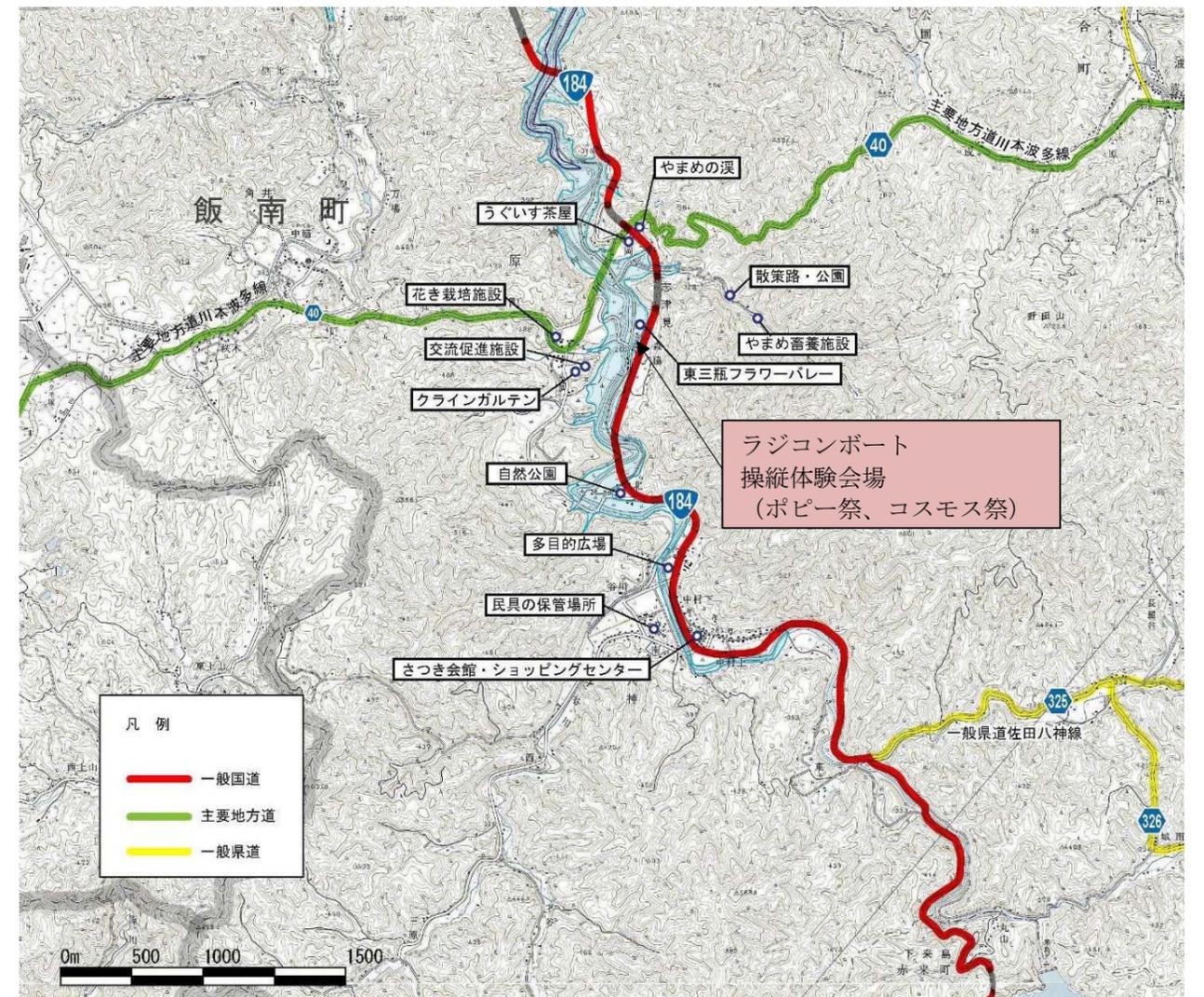
取り組み内容(全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化 ・周辺整備施設の活用 						
	場所	・フラワーバレーエリア						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジコンボートの愛好家が集い、レースと楽しむようなイベントを開催する。（新規取り組み） <p>【参考】 <既存の取り組み内容> ・H17～18年の2年ほど、志々小学校PTAを対象にプールで実施 ・美郷町カヌーの里との連携検討</p>						
H30で取り組むべき事項	① ラジコンボート操縦体験の試行実施の継続							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	カヌー教室の企画	●		●	●	●		
	カヌー教室の講師選定	●		●	●	●		
	資機材調達	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



今年度実施内容

1. ラジコンボート操縦体験の実施（ポピー／コスモス祭と同時開催）



ラジコンボート操縦体験（ポピー祭）

資料⑬：フォトコンテストの開催

ポピー祭、コスモス祭で実施しているフォトコンテストに志々地区の見どころをテーマにした内容追加を検討する。

取り組み内容(全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・地域資源の再確認
	場所	・水源地域(志々地区)
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の見どころをテーマとしたフォトコンテストを開催する。 <p>【参考】 <既存の取り組み内容> ・景観フォトコンテスト ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・いーなんの雪携帯フォトコンテスト</p>

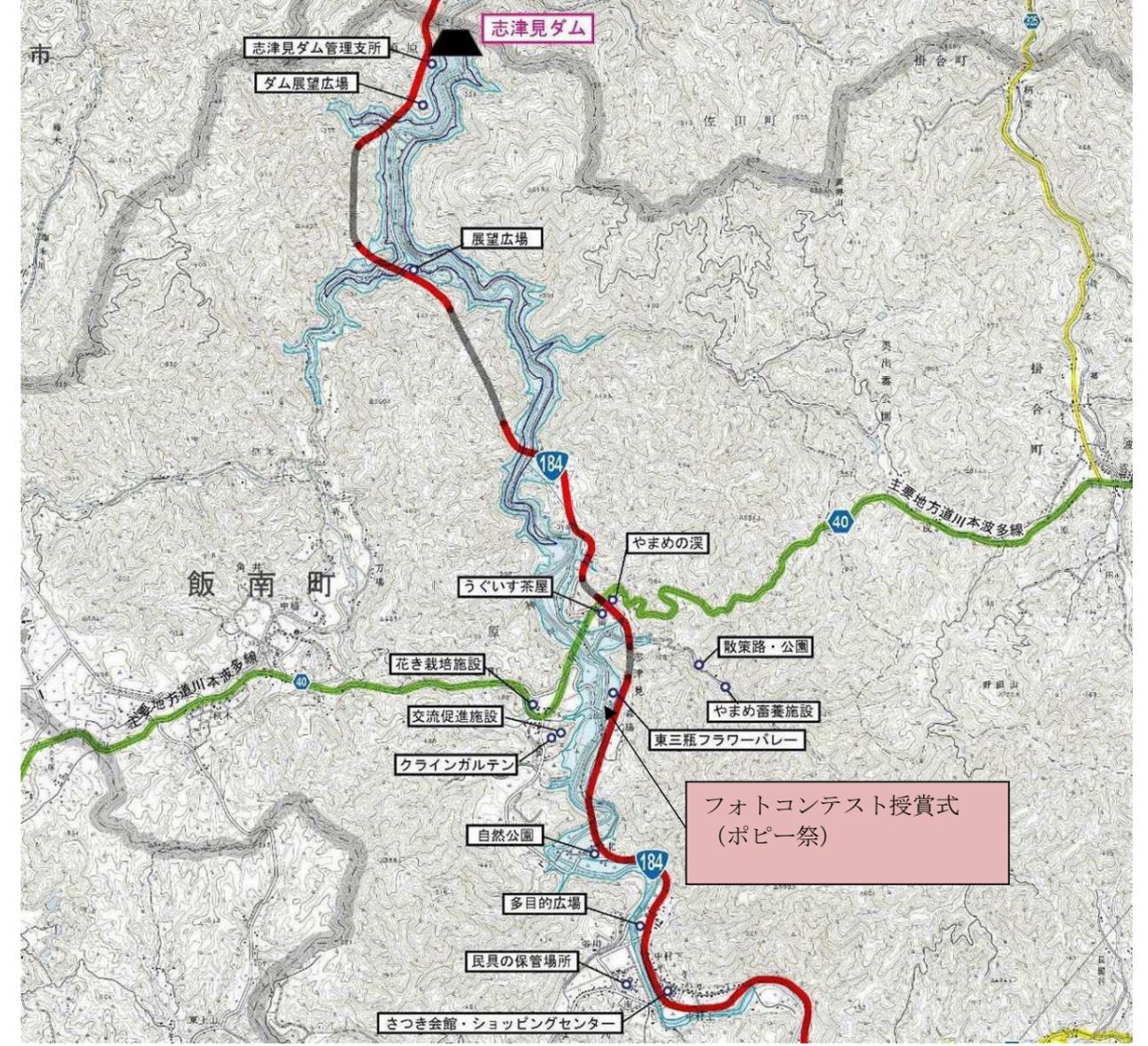
H30で取り組むべき事項	① 年間を通じた募集を引き続き行う ② 応募数が減少しているため町内PRを強化 ③ コンテスト入賞作品の展示機会の創出を検討
--------------	--

実施主体 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	コンテストの企画	●			●	●	●	
コンテストの実施				●				
コンテストの広報・PR	●			●	●	●		
作品審査	●			●	●	●		
賞品準備	●			●	●	●	賞品として、地域の特産品、1日管理支所長、巡視船乗船優待などを検討	

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
1. 年間を通じた募集(継続)
(募集期間:2018年1月~2019年1月)
 2. コンテスト入賞作品の展示機会の創出を検討
・募集チラシに昨年度の受賞作品を掲載。



【H29年受賞作品】

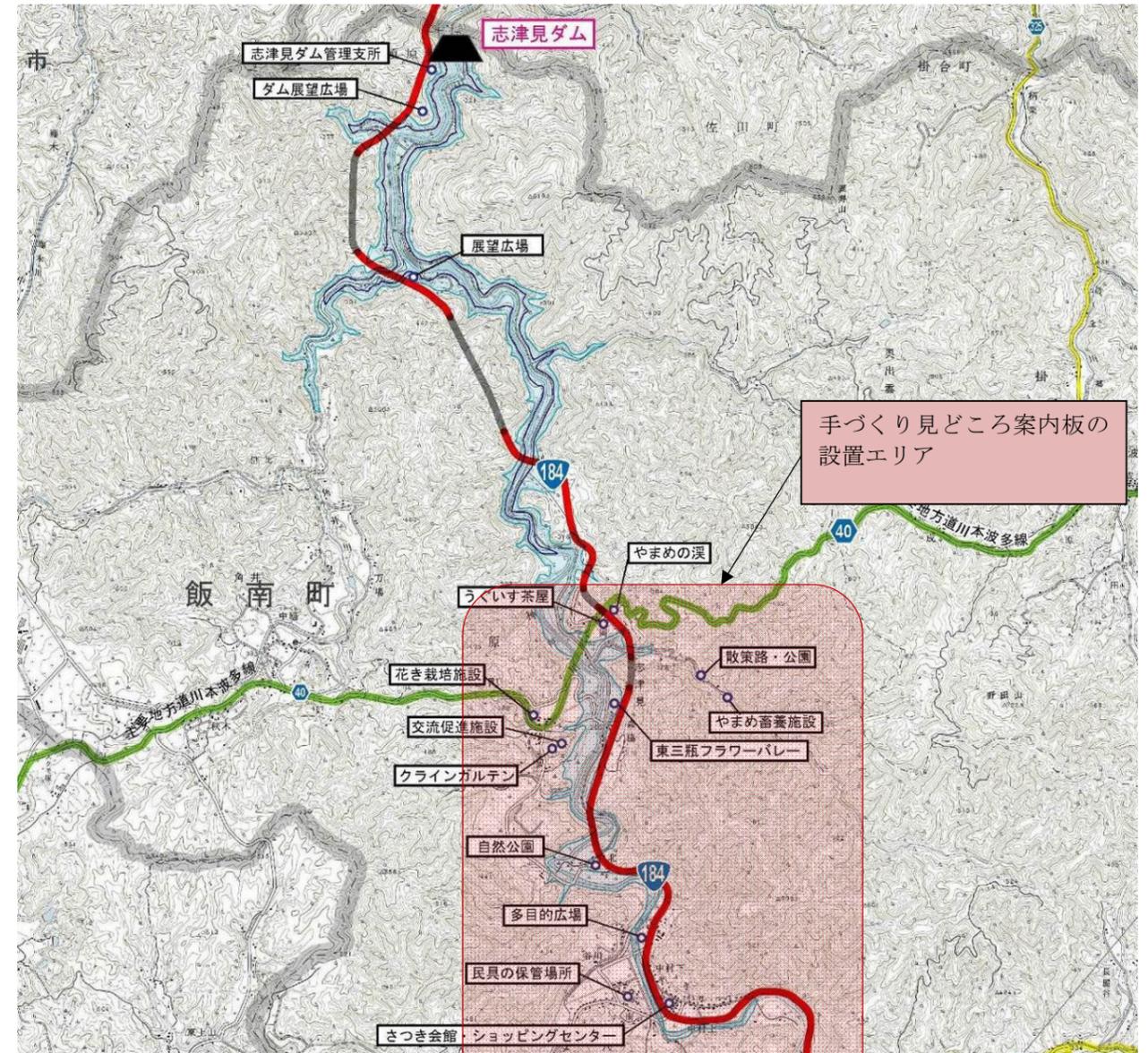
【H30年募集チラシ】

資料⑦：手作り見どころ案内板、マップ（パンフレット）づくり

取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信 ・地域資源の再確認 						
	場所	・水源地域（志々地区）						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・行政機関のホームページの改良（見やすくわかりやすい画面） ・周辺のダムとの連携（互いに紹介しあう仕組みづくり） ・ダムのビューポイントの整備とPR 						
H30で 取り組む べき事項	①（手作り見どころ案内板）案内板の内容充実や名所旧跡への案内板設置などの検討 ②（マップづくり）八福神マップを活用した八福神めぐりイベントの展開と交流人口の拡大							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	ダムHPのアイデア	●		●	●	●		
	ダムHPの改良					●		
	周辺ダムとの連携方策の検討	●		●	●	●		
	ダムのビューポイントの整備				●	●		
	広報			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図

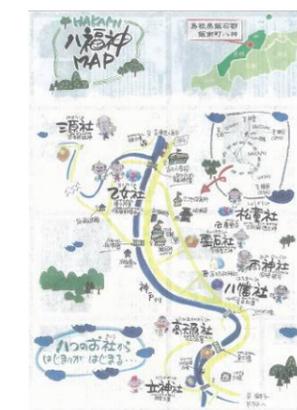


■今年度実施内容

1. 手作り見どころ案内板の作成、設置（継続）
 志々地区内の史跡を中心に、手作り見どころ案内板の内容の充実化と追加設置について検討を行った
2. 八福神マップの配布（継続）
 H29に作成した「八福神マップ」2000部を地域へ配布した。



案内看板の設置



八福神マップ



八福神紙芝居

資料⑱：田舎体験

地域の自然や生活、食文化などを体験してもらい、地域への理解と人々の交流を促進する。

取り組み内容 (全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> 生活体験等を通じた水源地域の魅力アピール 広域的な交流促進
	場所	<ul style="list-style-type: none"> 水源地域
内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自然や生活、食文化などの体験プログラムの作成 クラインガルテンのラウベの活用や民泊システムを検討 <p>【他のアクションプランとの連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子供むけ環境学習会の実施 ダム見学 上下流交流 <p>等との連携</p>	

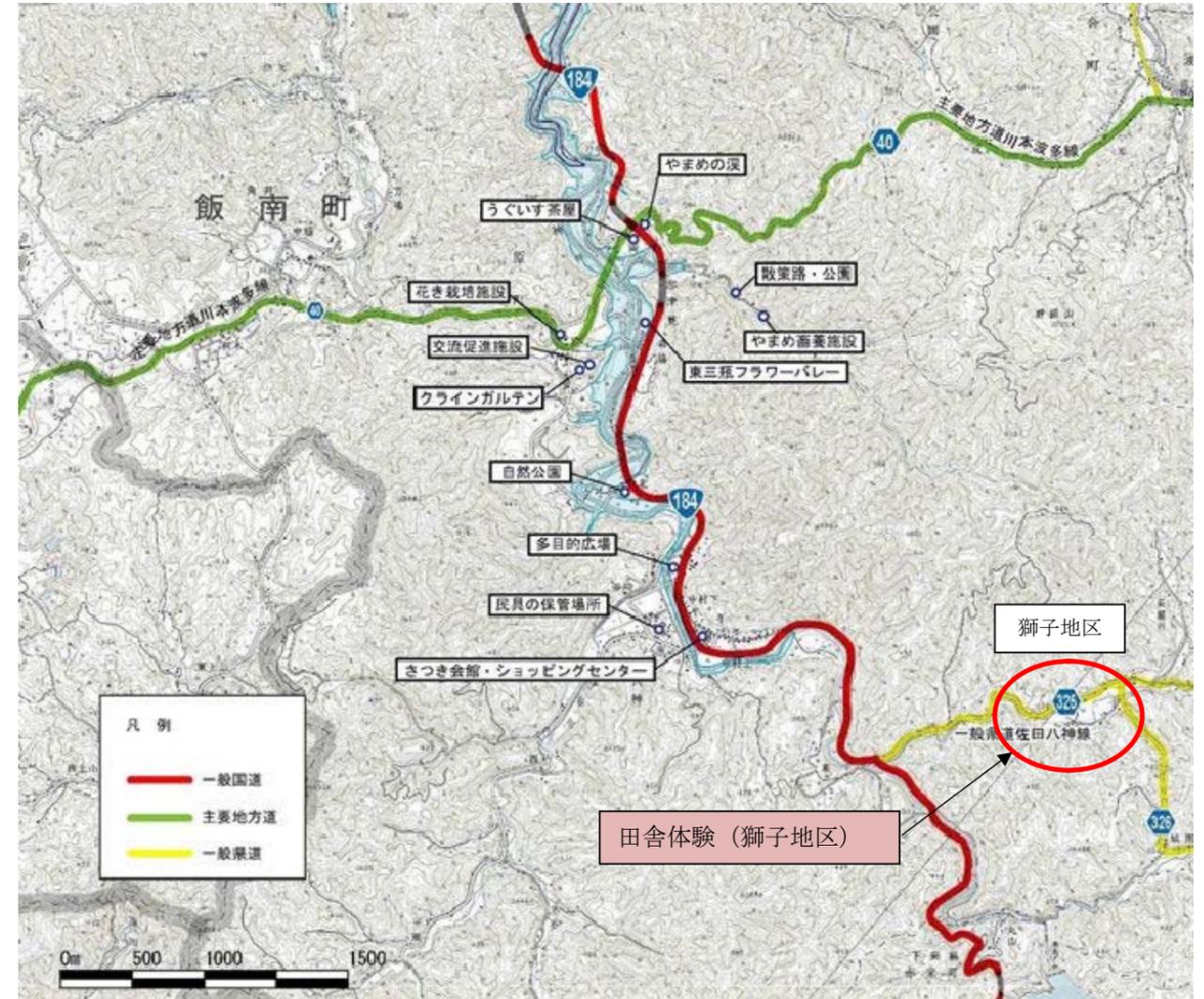
- H30で取り組むべき事項
- ① 獅子地区における田舎体験の継続
 - ② 田舎体験プログラムの他地区展開

実施主体 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会

実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
		ツアーの企画						ダムの魅力発信
	ダム見学の計画・実施			●	●	●		
	広報、PR			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. ダム見学・田植え体験(5/3-4、13人)
2. 稲刈り体験・観光施設見学(9/15-16、5人)
3. 志々地区運動会への学生参加(9/23、1名)
4. 秋の例大祭(11/3、11名参加)
5. 獅子田舎体験の活動報告会(1/26、29人)
 - 秋の例大祭のはやしこへの参加、電気柵やメッシュの設置作業などを一緒に行うなど、地域の人との交流を深め、大学生は研究テーマとして当該地区を調査
 - 地元の住民からも、継続実施を望む意見が多数あり、定期的なイベントとして定着を見せている



ダム見学



田植え体験



はやしこ参加

資料19：広域的な連携検討

他地区との連携を検討する。

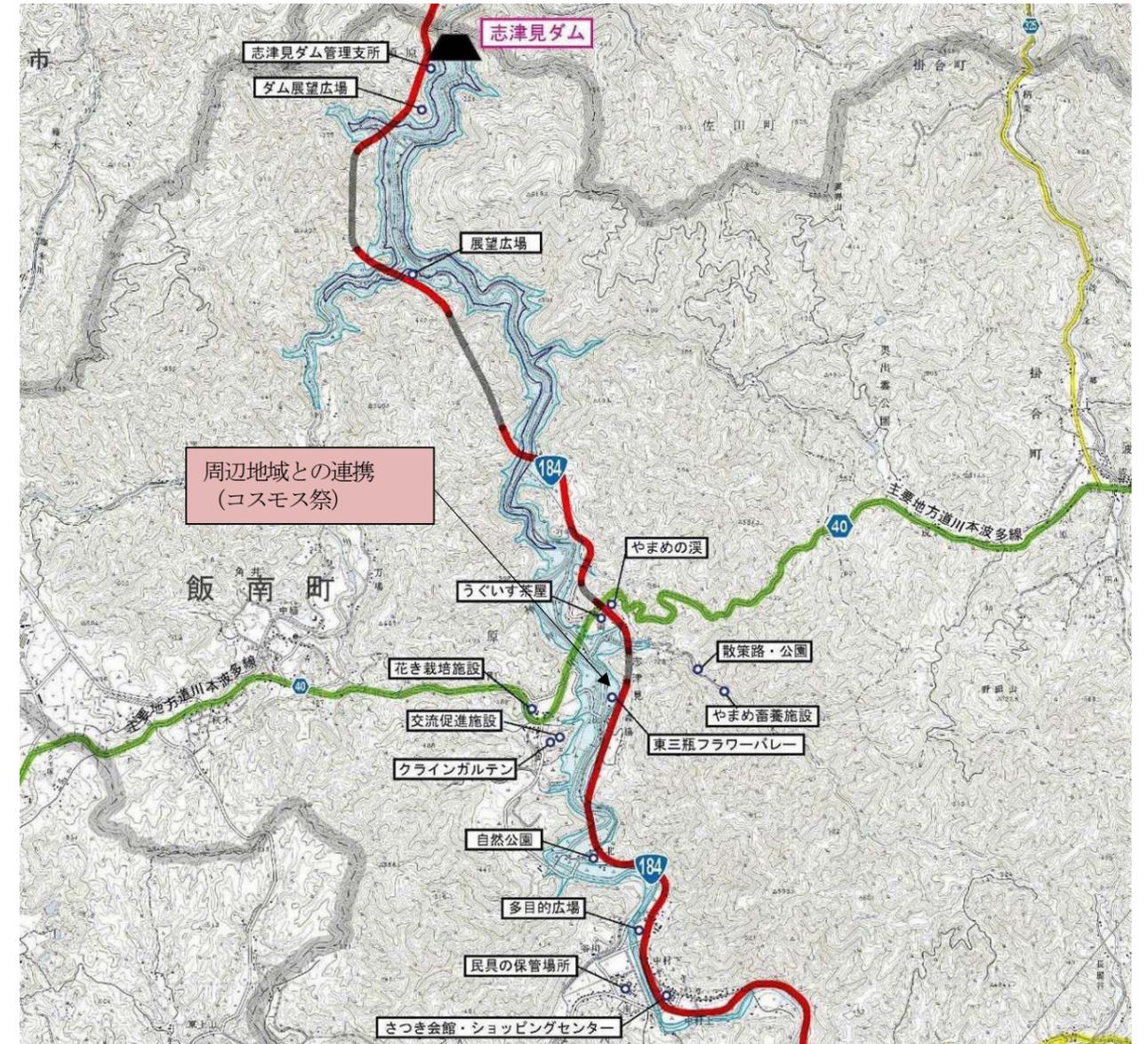
取り組み内容(全体)	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・他地区からの立ち寄り集客 ・広域的な交流促進 						
	場所	<ul style="list-style-type: none"> ・島根県中東部 						
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・三瓶山(三瓶温泉、島根県立三瓶自然館サヒメル)や石見银山、出雲市(佐田地区)、雲南市、尾原ダムなど、広域的に連携した観光ルートをつくり広くPRする。 <p>【他のアクションプランとの連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川と道路の清掃活動 ・水生生物調査 ・ポピー・コスモス祭り <p>等との連携</p>						
H30で取り組むべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ① 周辺地域(三瓶山周辺)への志津見ダムのPRを行う ② 斐伊川下流域、尾原ダム地域との交流は引き続き行う ③ 広域観光の結節点としての機能強化(情報提供など) 							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備考
	イベントの企画	●		●	●	●		
	イベントの運営	●		●	●	●		
	広報、PR			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■実施内容

1. 企業 CSR への招待
2. 周辺地域との連携
→コスモス祭でNPOさくらおろち(雲南市)と連携を実施